佐渡市図書館ビジョン前期暫定評価

令　和　６　年　３　月

佐渡市立中央図書館

目　　　次

1　主　　旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

2　前期評価方針

⑴評価指標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

⑵評価方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

3　前期評価

⑴令和１年度評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4

⑵令和２年度評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１

⑶令和３年度評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２３

⑷令和４年度評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３４

⑸令和５年度評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４３

⑹図書館ビジョン前期評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４６

4　まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５０

1　主旨

平成 31 年 3 月に、佐渡市の図書館の目指すべき姿を示した図書館ビジョンを制定し、ビジョンを実現するための計画について、前期計画を令和 1 年～令和 5 年の 5 ヶ年とし、計画、実績、評価を行ってきた。

令和 6 年～令和 10 年の後期計画作成にあたり、前期計画の総合評価を行うとともに、現状、課題、将来予測等を総合的に判断し、次の 5 ヶ年計画となる後期計画を作成し、市民から愛され共に歩む「佐渡の人づくりを支える、地域の学びの拠点」としての図書館を目標とする。

2　前期評価方針

(1)評価指標

図書館ビジョン前期実施計画の評価指標は次の通り。

1)基本的サービス・図書館運営に係る指標

① 資料購入費

② 蔵書冊数

③ 個人の貸出冊数

④ 登録者数

⑤ 新規登録者数

⑥ 来館者数

2)施策・事業

①佐渡に暮らす子どもたちの豊かな心を育む図書館に係る指標

a　１２歳以下子ども一人当たりの児童書数

b　小・中・高等学校への団体貸出冊数

c　学校図書館との懇談会、合同研修会　回数

②誰もが利用しやすい図書館に係る指標

a　高齢者向けイベント　実施回数

b　利用者の意見を把握する機会の設定（意見箱設置）

c　移動図書館車での貸出冊数

③佐渡の歴史と文化の学びを支える図書館に係る指標

a　郷土資料の蔵書冊数

b　郷土資料の貸出冊数

c　郷土資料を活用した事業の実施回数

④市民と共に歩み、愛される図書館に係る指標

a　予約冊数

b　新着案内・テーマごとのリスト　発行回数

⑤市民の課題解決を支援する図書館に係る指標

a　Wi-Fi および利用者用パソコンの設置（Wi-Fi 設置館数）

b　相互貸借冊数

c　レファレンスの事例紹介　発行回数

⑵方針

図書館ビジョンの評価に関しては、事業実施計画の目標に対し、実績がどうであったかを踏まえ事務局で自己評価を行い、図書館協議会委員のご意見を付与した上で、外部委員により評価をいただいている。

現時点で、前期評価に関し、外部評価まで完了しているものは、令和１年度～令和４年度までとなっている。

令和５年度の事業に関しての評価については、外部評価まで完了していないが、令和５年度の評価に関しては、実績に対しての事務局の自己評価とする。

上記を踏まえ、前期計画の総合評価に関しては、令和１年度～令和４年度は外部評価、令和５年は事務局自己評価を踏まえての事務局による暫定的な総合評価を行うものとする。

3　前期評価

(1)令和１年度評価

1)基本的サービス・図書館運営

【事務局自己評価】B 評価

・資料購入費については微増。限られた財源の中で、蔵書増に努めた。

・個人貸出冊数、登録者数については、人口減およびコロナ禍の影響を受けつつも、増加。

・来館者数の増は、H30 年度に新築移転した両津図書館の、大幅な伸びによる。

【図書館協議会委員意見】

○評点について

・妥当、概ね評点どおりと思われる。

・全てにおいて目標どおり達成であり、新規登録者減は児童生徒数の減少・大学進学者の市外転出が多いため、評価項目自体が図書館側の努力では向上は無理であるので、A 評価とすべき。

○内容説明および自己評価について

・両津図書館の新築移転での増加もあるが、他の図書館(室)の来館者数もほぼ前年どおりであるため、新規利用者が伸びたと思われる。一過性にする事なく、各地区で工夫を凝らしてほしい。

・コロナ禍の影響で増加したという分析も成り立つのではないか。

【外部評価】

・利用者数の増加を運営目標の根幹と捉えたい。今年度は、新設両津図書館の影響もあり満足できる結果を示している。その要因を細かく分析する必要がある。利用者の側に立ち、他の施設で実践できるものを洗い出すと新たな施策が見えてくるのではないか。IT 機器等の充実と電子書籍等の導入も検討。

2)施策・事業

①佐渡に暮らす子どもたちの豊かな心を育む図書館

【事務局自己評価】B 評価

・学校への団体貸出冊数は、コロナ禍の影響等で減。

・R1 年度に学校図書館との懇談会を新規で 2 回、開催した。今後も継続的に開催予定。

【図書館協議会委員意見】

○評点について

・1 項目が未達成(社会的要因)で B は妥当、概ね評点どおりと思われる。

○内容説明および自己評価について

・懇談会、合同研修会は大変ありがたい。今後も継続してほしい。

・コロナの影響を最小限にできるよう、学校とのきめ細かい協議をお願いする。

【外部評価】

・佐渡の子どもの読書量は増えているのか、減っているのか基本的なデータが欲しい。それを踏まえて、小・中・高との連携が重要になってくる。司書教員との合同研修は大きな柱になる。回数ではなく内容の評価も必要。

・保育園等との取り組みも期待したい。

・数値には表れにくいのであろうが、本好きを育てる活動も進めてほしい。

②誰もが利用しやすい図書館

【事務局自己評価】C 評価

・高齢者向けイベントと意見箱は、R2 年度中の開催および設置を予定。

・コロナ禍で移動図書館車の運行回数減。

【図書館協議会委員意見】

○評点について

・コロナウイルス対策の影響もあるため、評点は妥当。

・高齢者率の高い遠隔地でのアクセスの問題等、改善が望まれる。

○内容説明および自己評価について

・移動図書館について貸出冊数の比較をする必要はないか、回数減の理由が妥当かも含めて検討の余地がある。

・高齢者向けイベントは充実したものになるよう PDCA をした上でぜひ実現をしてほしい。

・意見箱は集約後、回答を紹介することが双方向の意見交流として大切だと思う。

【外部評価】

・誰もが利用しやすい図書館として、高齢者をターゲットにしているが、年齢・性別ごとの意見を集約してこそ、方向性が見えてくるのでは。

・本好きにする地域ぐるみの活動は考えられないか。

・読み聞かせなどボランティアの活用を積極的に進めてほしい。

③佐渡の歴史と文化の学びを支える図書館

【事務局自己評価】B 評価

・郷土資料の蔵書冊数と貸出冊数は毎年増加しており、さらに効果的な活用を目指した事業の実施を計画している。

【図書館協議会委員意見】

○評点について

・先の 2(誰もが利用しやすい図書館)と同様に考え、C が妥当/概ね評点どおりと思われる/A でもよいのではないか。

○内容説明および自己評価について

・郷土資料について、関係機関と連携した活用を望む。

・郷土資料を活用した事業の実施回数は、専門機関との共催でないと難しい。郷土資料のデジタルアーカイブ化なら少しずつ取り組めるのではないか。

【外部評価】

・郷土資料は充実しており、貸出件数も満足できる。検索のしやすさが課題のようだが、他図書館の事例等を参考にデジタル化を進め、学校現場へ情報提供すれば活用数も増えるのでは。

・郷土資料の需要が高いことから、出版情報に目配りし、郷土資料の充実を望む。非売の資料もあるので入手に努められたい。

・博物館等で所蔵する郷土資料との連携も考えてほしい。博物館等の所蔵する図書資料なども検索可能にできないか。閲覧の方法についても考慮されたい。

④市民と共に歩み、愛される図書館

【事務局自己評価】B評価

・ネットを利用した個人予約の件数が増加。

・コロナ禍の中で図書館を効率的に利用いただけるよう、予約サービスの周知に努めたい。

【図書館協議会委員意見】

○評点について

・妥当、概ね評点どおりと思われる。

○内容説明および自己評価について

・コロナもあり、図書館の役割の再考が必要。状況に合った予約や貸出方法を考えてほしい。

・ネットでの予約サービスは、これからさらに伸びる可能性を感じる。ゆくゆくは、デジタル書籍のサービスも取り入れることになるのではと思う。

【外部評価】

・予約冊数は目標値に近づいており満足できる結果だと思う。人気図書は、予約人数を見てあきらめている人も相当いるのではないか。有効な対策はないのだが、情報提供は必要と思われる。

・限られた予算の中では難しいと思われるが、市民のニーズを的確に把握し、購入と併せ愛される図書館にしていただきたい。

⑤市民の課題解決を支援する図書館

【事務局自己評価】C 評価

・相互貸借サービスが定着し、利用件数は毎年増。

・各種データベース検索のため、中央図書館に個人解放用のパソコン設置を目指す。

【図書館協議会委員意見】

○評点について

・妥当だと思う。早急に改善を望む。

○内容説明および自己評価について

・Wi-Fi やパソコン等ネット環境の整備はコロナ禍・ネット社会において急務。

・レファレンスの事例紹介は今後期待する。方法を検討してほしい。

【外部評価】

・ネット環境は重要であるが、パソコン 1 台では一人にしか対応できない欠点もある。スマホでどの程度図書館を活用できるか周知するとともに、利便性を調査してはどうか。

・レファレンスの充実と結果の紹介について Web などを活用して進めていただきたい。

【外部委員による総評】

図書館協議会・意見箱等からの意見をどのように事業に反映させたのか、その点からの評価も欲しい。

限られた予算・人員の中ではあるが、さらなる利用増や読書活動の充実のため、快適な読書空間の構築、施設の充実を望みたい。

令和元年度実施計画評価

評価指標（令和元年度～令和5年度）

区分	評価指標	実績 H30	実績 R元	前年度比	目標値 R2	目標値 R5	自己評点	内容説明および自己評価	図書館協議会委員からのご意見	外部評価
図書館運営	基本的サービス									
	資料購入費・決算数値（千円）	10,988	11,135	147	―	―	B	・資料購入費については微増。限られた財源の中で、蔵書増に努めた。 ・個人貸出冊数、登録者数については、人口減およびコロナ禍の影響を受けつつも、増加。 ・来館者数の増は、H30年度に新築移転した両津図書館の、大幅な伸びによる。	○評点について ・妥当。概ね評点とおりと思われる。 ・全てにおいて目標とおり達成であり、新規登録者減は児童生徒数の減少・大学進学者の市外転出が多いため、評価項目自体が図書館側の努力では向上は無理であるので、()を除くしA評価とすべき。 ○内容説明および自己評価について ・両津図書館の新築移転での増加もあるが、他の図書館(室)の来館者数もほぼ前年どおりであるため、新規利用者が伸びたと思われる。一過性にする事なく、各地区で工夫を凝らしてほしい。 ・コロナ禍の影響で増加したという分析も成り立つのではないか。	・利用者数の増加を運営目標の根幹と捉えたい。今年度は、新設両津図書館の影響もあり満足できる結果を示している。その要因を細かく分析する必要がある。利用者の側に立ち、他の施設で実践できるものを洗い出すと新たな施策が見えてくるのではないか。 ・IT機器等の充実と電子書籍等の導入も検討されたい。
	蔵書冊数	346,584	352,736	6,152	358,000	360,000				
	個人の貸出冊数	246,946	252,757	5,811	250,000	300,000				
	登録者数	16,189	17,012	823	17,800	20,000				
	（うち新規登録者数）	993	859	▲134	900	1,200				
	来館者数	149,201	163,702	14,501	160,000	155,000				
施策・事業	1 佐渡に暮らす子どもたちの豊かな心を育む図書館									
	１２歳以下子ども一人当たりの児童書数	20	22	2	24	23	B	・学校への団体貸出冊数は、コロナ禍の影響等で減。 ・R1年度に学校図書館との懇談会を新規で２回、開催した。今後も継続的に開催予定。	○評点について ・1項目が未達成(社会的要因)でBは妥当、概ね評点とおりと思われる。 ○内容説明および自己評価について ・懇談会、合同研修会は大変ありがたい。今後も継続してほしい。 ・コロナの影響を最小限にできるよう、学校とのきめ細かい協議をお願いする。	・佐渡の子どもの読書量は増えているのか、減っているのか基本的なデータが欲しい。それを踏まえて、小・中・高との連携が重要になってくる。司書教員との合同研修は大きな柱になる。回数ではなく内容の評価も必要。 ・保育園等との取り組みも期待したい ・数値には表れにくいのであろうが、本好きを育てる活動も進めてほしい。
	小・中・高等学校への団体貸出冊数	9,317	7,796	▲1,521	9,000	10,000				
	学校図書館との懇談会、合同研修会　回数	0	2	2	2	3				
	2 誰もが利用しやすい図書館									
	高齢者向けイベント　実施回数	0	0	0	1	4	C	・高齢者向けイベントと意見箱は、R2年度中の開催および設置を予定。 ・コロナ禍で移動図書館車の運行回数減。	○評点について ・コロナウィルス対策の影響もあるため、評点は妥当。 ・高齢者率の高い通勤にて（）アクセスの問題等　改善が望まれる ○内容説明および自己評価について ・移動図書館について貸出冊数の比較をする必要はない。回数減の理由が妥当かも含めて検討の余地がある。 ・高齢者向けイベントは充実したものになるようPDCAをした上でぜひ実現をしてほしい。 ・意見箱は事前に、回答を公開することが双方向の意見交流として大切だと思う。	・誰もが利用しやすい図書館として、高齢者をターゲットにしているが、年齢・性別ごとの意見を集約してこそ、方向性が見えてくるのでは。 ・本好きにする地域ぐるみの活動は考えられないか。 ・読み聞かせなどボランティアの活用を積極的に進めてほしい。
	利用者の意見を把握する機会の設定（意見箱設置）	1	1	0	10	10				
	移動図書館車での貸出冊数	4,604	4,316	▲288	4,000	5,000				
	3 佐渡の歴史と文化の学びを支える図書館									
	郷土資料の蔵書冊数	33,950	35,110	1,160	36,500	36,000	B	・郷土資料の蔵書冊数と貸出冊数は毎年増加しており、さらに効果的な活用を目指した事業の実施を計画している。	○評点について ・先の2(誰もが利用しやすい図書館)と同様に考え、Cが妥当/概ね評点どおりと思われる/Aでもよいのではないか。 ○内容説明および自己評価について ・郷土資料について、関係機関と連携した活用を望む。 ・郷土資料を活用した事業の実施回数は、専門機関との共催でないと難しい。郷土資料のデジタルアーカイブ化なら少しずつ取り組めるのではないか。	・郷土資料は充実しており、貸出件数も満足できる。検索のしやすさが課題のようだが、他図書館の事例等を参考にデジタル化を進め、学校現場へ情報提供すれば活用数も増えるのでは。 ・郷土資料の需要が高いことから、出版情報に目配りし、郷土資料の充実を望む。非売の資料もあるので入手に努められたい。 ・博物館等で所蔵する郷土資料との連携も考えてほしい。博物館等の所蔵する図書資料なども検索可能にできないか。閲覧の方法についても考慮されたい。
	郷土資料の貸出冊数	3,264	3,730	466	3,800	3,500				
	郷土資料を活用した事業の実施回数	0	0	0	1	2				
	4 市民と共に歩み、愛される図書館									
	予約冊数	56,389	58,547	2,158	60,000	60,000	B	・ネットを利用した個人予約の件数が増加。 ・コロナ禍の中で図書館を効率的に利用いただけるよう、予約サービスの周知に努めたい。	○評点について ・妥当。概ね評点とおりと思われる。 ○内容説明および自己評価について ・コロナもあり、図書館の役割の再考が必要。時流に合った予約や貸出方法を考えてほしい。 ・ネットでの予約サービスは、これからさらに伸びる可能性を感じる。ゆくゆくは、デジタル書籍のサービスも取り入れることになるのではと思う。	・予約冊数は目標値に近づいており満足できる結果だと思う。人気図書は、予約人数を見てあきらめている人も相当いるのではないか。有効な対策はないのだが、情報提供は必要と思われる。 ・限られた予算の中では難しいと思われるが、市民のニーズを的確に把握し、購入と併せ愛される図書館にしていただきたい。
	新着案内・テーマごとのリスト　発行回数	24	24	0	28	30				
	5 市民の課題解決を支援する図書館									
	WiFiおよび利用者用パソコンの設置（WiFi設置館数）	6館	6館	0	6館	10館	C	・相互貸借サービスが定着し、利用件数は毎年増。 ・各種データベース検索のため、中央図書館に個人解放用のパソコン設置を目指す。	○評点について ・妥当だと思う。早急に改善を望む ○内容説明および自己評価について ・Wi-Fiやパソコン等ネット環境の整備はコロナ禍・ネット社会において急務。 ・レファレンスの事例紹介は今後期待する。方法を検討してほしい。	・ネット環境は重要であるが、パソコン１台では一人にしか対応できない欠点もある。スマホでどの程度図書館を活用できるか周知するとともに、利便性を調査してはどうか。 ・レファレンスの充実と結果の紹介をWebなどを活用して進めていただきたい。
	相互貸借冊数	1,489	1,761	272	1,800	2,000				
	レファレンスの事例紹介　発行回数	0	0	0	2	3				

外部委員による総評	図書館協議会・意見箱等からの意見をどのように事業に反映させたのか、その点からの評価も欲しい。 限られた予算・人員の中ではあるが、さらなる利用増や読書活動の充実のため、快適な読書空間の構築、施設の充実を望みたい。

※「自己評点」について…　A：目標値を上回って達成　B:目標どおり達成　C:目標値を下回った

⑵令和２年度評価

1)基本的サービス・図書館運営

【事務局自己評価】B 評価

・資料購入費は、新型コロナウイルス時感染症対応地方創生臨時交付金（以下「コロナ交付金」（2,689 千円）も含んだ数値です。

・個人貸出冊数や来館者数については、コロナ禍による臨時休館やサービス制限等の対応の盈虚もあり大幅に減少しました。

＜行った主な対応＞

臨時休館：４/20～５/10、７/22～７/28

返却貸出のみ：4/13～4/19

予約本貸出のみ：5/11～5/26

イベント中止：４月～７月

・４/13～６/30 の間、貸出冊数を 20 冊に、貸出期間を３週間に拡大しました。

【図書館協議会委員意見】

○評点について

・新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、評点は妥当と思います。

○内容説明および自己評価について

・新型コロナウイルスの影響もあり、来館者数や貸出冊数の減少は図書館の努力だけでどうにかできる事ではありません。貸出冊数と期間を拡大したことは良い対処だったと思います。その効果等をどの様に評価しているのでしょうか。

・コロナ禍の中、ある程度の貸出実績等を維持できたことは評価できます。また、コロナ禍の中で、登録者数をほぼ維持できたことは大変評価できます。

・新規登録者数の伸びが少ないのが残念です。コロナ禍だけど、図書館は面白そう、行ってみようかという機運を醸成して、新しい利用者を増やして欲しい

です。

・資料購入費は、コロナ交付金があり、児童書が充実してきました。新規登録者数については、人口減のため減少傾向にあるため、目標数をもう少し低くしても良いと思います。

【外部評価】

・資料購入費や蔵書数が増えたことは、今後の図書館運営にプラスである。

・来館者数減少の中、登録者数の増加は図書館運営の努力の成果と捉えたい。

・新規登録者数について、実績を見ると達成は難しい数字だと感じるが、令和5年度の数字が変更できないのであれば目標数値としては妥当と思う。

・返却資料の一定期間の隔離など図書館で実施しているコロナ感染防止対策について、もう少しアピールした方が利用者の安心につながると思う。

2)施策・事業

①佐渡に暮らす子どもたちの豊かな心を育む図書館

【事務局自己評価】B評価

・コロナ交付金を活用し、保育園や学校等への団体貸出用に児童書等を購入しました。

・個人貸出が減少する中でも、学校等のリクエスト等もあり、団体貸出は増加しました。

・学校図書館との懇談会等は、コロナ禍により実施できませんでした。

【図書館協議会委員意見】

○評点について

・A評価に近いBとしたいです。

・概ね妥当と思われます。

・1人当たりの児童書数・団体貸出数が伸びているので、この2つについては

A評価でも良いと思います。

・コロナ交付金を活用し、保育園や学校等への団体貸出用児童書を購入し、一人あたりの児童書数を増やせたことは評価できます。また、団体貸出数も増やすことができたことを考えると、Aの評価といえるでしょう。

〇内容説明および自己評価について

・子ども一人当たりの児童書数、団体貸出冊数とも目標を上回っており、図書館の努力を評価したいです。蔵書の内容も充実しています。

・学校図書館との懇談会は、コロナ禍により実施できなかったことは致し方ない事と思いますが、今後はオンライン開催にするなど、工夫できることがあるのではないでしょうか。書面等による意見交換等の取り組みについて検討されたのでしょうか。

【外部評価】

・小・中・高等学校への団体貸出数の増加は、各学校の要望にきめ細かに対応した結果であると思う。

・事業の実施はオンラインなど幅広い捉え方をするとよい。

・希望図書の購入も含めて各学校との連携を強化して欲しい。その仲立ちのためにも、各校司書との意見交換の場（オンラインを含めて）が必要である。

・保育園や小学校だけでなく、学童保育へのサービスなども考えながら、子どもたちの利用の向上につなげていって欲しい

・それぞれの項目を独立させて考えるのではなく、関係部署と連携し、団体貸出の利用が、移動図書館や学校図書館との懇談会などと関わるように考慮していって欲しい。

②誰もが利用しやすい図書館

【事務局自己評価】C評価

・高齢者向けイベントは、コロナ禍により実施できませんでした。

・移動図書館車は、４月～６月の間、団体貸出と個人の予約本の貸出のみとしたこともあり、貸出冊数は減少しました。また、市のイベント時に移動図書館車を活用する計画も検討しましたが、コロナ禍により、実施できませんでした。

【図書館協議会委員意見】

○評点について

・コロナ禍だけではなく、少し扉が重い様な気がします。もうひとつ何か気軽に出入りできる工夫がほしいです。

・コロナ禍でもあり、妥当と思います。

・コロナ禍にはオンライン活用が様々な場所で有効です。高齢者だから無理ではなく、高齢者だからこそ必要な事もありますので、オンライン利活用へのサポートにチャレンジできたらいいと思います。

○内容説明および自己評価について

・利用者の意見を把握するための機会の設定は、コロナ禍の中でもできる内容なので、１０箇所すべてで、実施できるとよかったです。

・紙のアンケートや意見箱だけでなく、パソコンやスマホから回答できるようにするなど、時代に合わせた様式を取り入れることも検討してください。

・「利用者の意見を把握する機会の設定」の目標設定は妥当だったのでしょうか。

・利用しやすい図書館とは、イベント開催や移動図書館車はもちろん有効です。そして利用者の意見、また利用していない市民の考えを収集することも大切だと思います。

・移動図書館車での貸出冊数は、減少したものの、よく健闘していると思われます。

【外部評価】

・利用者の意見・要望の集約は意見箱に頼らなくともよい。ネット予約の際の予約票に意見欄や要望欄を設けても収集できる。インターネットを利用した方が収集と分析が楽である。

・意見箱の設置は難しい事ではないのではないか。その図書館の運営や図書のリクエストについて書くことができるよう設置すればいい。どんな意見があり、どんな対応をしたか全館でまとめ公表することで、自分の意見に反応が返ってくるようにする仕組みづくりが大切である。

・人の動きなど、移動図書館にどこまで需要があるのか分析と検討が必要である。

③佐渡の歴史と文化の学びを支える図書館

【事務局自己評価】B 評価

・郷土資料の収集に努めましたが、全体的な貸出しが減少する中で、郷土資料の貸出も減少しました。

・郷土資料を活用した事業は実施できませんでしたが、郷土資料は年々増加しており、今後効果的な活用を目指した事業計画が必要であると考えています。

【図書館協議会委員意見】

○評点について

・妥当であると考えます。

・マニアックな郷土資料ではなく、「佐渡を愛する子どもの育成」につながる分かりやすい資料もあると、学校での活用につながると思います。

○内容説明および自己評価について

・地域の特性が失われていく中で、資料の利活用から地域再生につながるような、今後一層有効活用される取り組みができないか期待します。

・全体の貸出冊数の減少からすると大きな落ち込みではないので、郷土資料の収集や紹介がうまくいっていたのではないかと思います。資料の活用については博物館の展示や市民大学講座など、他の機関と連携して企画を考えてみるのも面白いのではないでしょうか。

・貸出冊数の達成率よりもレファレンスにきちんと対応できているかどうかの評価も必要です。

・郷土資料を活用した事業の実施について、企画として知ってもらう機会を設定するとよいと思います。例えば、「佐渡金銀山世界遺産コーナー」など、佐渡に関わるもので構成された、特設コーナーをつくることも一つの方法ではないかと思われます。最近人々の関心が高まり、注目を集めるものですので、企画すれば貸出数も増えるのではないかと思われます。これらについて市内外から問い合わせ、佐渡の小・中・高の「総合的な学習の時間」での利用に対応できるようにすべきであるし、それに関する事業も今後考えられるでしょう。

【外部評価】

・郷土資料の蔵書数や貸出冊数は十分に満足できる数値である。

・郷土資料の検索マニュアルをボランティアを募集して作成し充実すれば、さらに利用数の増加が期待できる。

・郷土資料の検索について、より分かりやすく検索できる方法を周知してほしい。

・郷土の歴史をより身近に感じてもらうため、各図書館で所蔵している古文書などの展示等の企画も検討するとよいのではないか。

④市民と共に歩み、愛される図書館

【事務局自己評価】B 評価

・休館やサービス制限等から、ネット予約について積極的な啓発を行ったところ、ネットを利用した個人予約の件数が増加しました。

・新着図書のリストについては、園児・児童向けと一般向けをそれぞれ、毎月発行しましたが、テーマごとのリスト作成ができませんでした。

・図書館を効率的に利用いただくため、新着案内や予約サービスの充実に努めていきたい。

【図書館協議会委員意見】

○評点について

・妥当であると考えます。

・A 評価に近い B としたいです。

・目標値について、実態を踏まえた数値に修正すべきです。

・リストの発行回数未達成については、図書館の業務量に対して目標値が高かったのではないかと感じます。

・積極的な広報により、ネットの予約が増えているのは、大変評価できます。目標を大きく超えていることから A でもよいと思われます。

○内容説明および自己評価について

・誰もが使いやすい方法をお知らせすることも大事なのではないでしょうか。

・予約冊数について、ネット予約の積極的な啓発が要因であるのと思われるので評価したいです。

・リストの発行は、次年度において確実に実施できるよう取り組んでください。

・ネット社会にどんどん対応していく必要はありますが、図書館での交流、窓口レファレンスでの新たな気づきなど、人とのふれあいの場、あたたかみのあ

る図書館であってほしいと思います。

・新着図書のリストは分かりやすくて大変よいと思います。今後は、SNS を活用した分かりやすくて素早い紹介が工夫できるとよいと思います。

・本の予約方法についても SNS 等でお知らせできるとよいと思います。併せて、蔵書にない本の購入と予約もできることを周知するとさらに増えるのではないかと思います。

【外部評価】

・休館やサービス制限への対応はよい取組であった。

・分野別、年令別の予約ランキング等の公表も宣伝効果があるのではないか。年間ではなく、ある期間を区切っての集計でもよい。

・ボランティアの活動が増えるよう考慮してほしい。

⑤市民の課題解決を支援する図書館

【事務局自己評価】C 評価

・コロナ禍による関係館の休館等もあり全体的な貸出しが減少する中で、相互貸借の冊数も減少しました。

・検索サービス等の充実のため、令和 3 年度中に、中央図書館に強い Wi-Fi を整備し、新潟日報の記事も検索できるパソコンを設置予定。

・レファレンス事例紹介は行うことができませんでした。

【図書館協議会委員意見】

○評点について

・数字的には、確かに減少傾向で C 評価となっていますが、相互貸借に頼らなくても市内の図書館で所蔵していたと考えられ、佐渡市図書館が充実してきたとも言えます。

・妥当であると考えます。

・環境改善と同時にPRもお願いします。

○内容説明および自己評価について

・全体の貸出冊数が減少しているので、相互貸借が目標値を下回ったことはやむを得ないと思います。

・検索サービスやレファレンスが充実することで、利便性が向上し相互貸借が活発になると思うので、体制作りに期待します。

・レファレンス事例の紹介が実施できなかったのはなぜでしょうか。課題解決の具体例を知る機会になると思います。早い実施を希望します。

・令和3年度に、中央図書館に強いWi-Fiを整備し、新聞データ記事検索ができる端末を設置予定とのことですが、とても良いことだと思います。Wi-Fiの整備が進むことを望みます。

・検索できるパソコンがない4つの図書館にも早めに設置できるようにしてほしいと思います。

【外部評価】

・図書館で学習できる環境を整えていくことが今の時代には必要である。

・図書館協議会委員のご意見にもあるように、Wi-Fiの未設置4館の設置を計画的に進めてほしい。令和5年まであと2年しかない。

・図書館の活用方法等の情報を市報やホームページ等でもっと発信すべきである。(例えば、パソコン初心者でも分かりやすいホームページの使い方や、図書館の利用方法の動画での紹介等。)

・レファレンスの事例紹介について、窓口等での対応事例を数字的に把握分析しながら、計画的に実施できるよう検討してほしい。

【外部委員による総評】

・コロナ禍であるが、その中でよく事業を進めている。

・限られた人員と予算の中で、各図書館の特色を生かし、重点的に取り組む内容をしっかり定め目標を設定し事業に取り組んでほしい。

・評価反映にタイムラグがあるのが気になる。評価結果は次年度に生かせるよう工夫してほしい。また、後期5カ年計画に向けて、図書館の老朽化や蔵書収容数の限界などの課題解決に向けた対応も考えながら進めるべきである。

令和２年度事業実施評価

区分	評価指標	実績 H30	実績 R元	目標 R２	実績 R２	目標値 R３	目標値 R５	自己評点	内容説明および自己評価	図書館協議会委員からのご意見	外部評価
図書館運営	基本的サービス										
	資料購入費・決算数値（千円）	10,998	11,135	－	13,865	－	－	B	・資料購入費は、新型コロナウイルス時感染症対応地方創生臨時交付金（以下「コロナ交付金」（2,689千円）も含んだ数値です。 ・個人貸出冊数や来館者数については、コロナ禍による臨時休館やサービス制限等の対応の影響もあり大幅に減少しました。 ＜行った主な対応＞ 臨時休館：４/20～５/10、７/22～７/28 返却貸出のみ：4/13～4/19 予約本貸出のみ：5/11～5/26 イベント中止：４月～７月 ・４/13～６/30の間、貸出冊数を20冊に、貸出期間を3週間に拡大しました。	評価について ・新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、評点は妥当と思います。 内容説明および自己評価について ・新型コロナウイルスの影響もあり、来館者数や貸出冊数の減少は図書館の努力だけでどうにかできる事ではありません。貸出冊数と期間を拡大したことは良い対処だったと思います。その効果等をどの様に評価しているのでしょうか。 ・コロナ禍の中、ある程度の貸出実績等を維持できたことは評価できます。また、コロナ禍の中で、登録者数をほぼ維持できたことは大変評価できます。 ・新規登録者数の伸びが少ないのが残念です。コロナ禍だけど、図書館は面白そう、行ってみようかという機運を醸成して、新しい利用者を増やして欲しいです。 ・資料購入費は、コロナ交付金があり、児童書が充実してきました。新規登録者数については、人口減のため減少傾向にあるため、目標数をもう少し低くしても良いと思います。	・資料購入費や蔵書数が増えたことは、今後の図書館運営にプラスである。 ・来館者数減少の中、登録者数の増加は図書館運営の努力の成果と捉えたい。 ・新規登録者数について、実績を見ると達成は難しい数字だと感じるが、令和5年度の数字が変更できないのであれば目標数値としては妥当と思う。 ・返却資料の一定期間の隔離など図書館で実施しているコロナ感染防止対策について、もう少しアピールした方が利用者の安心につながると思う。
	蔵書冊数	346,584	352,736	358,000	361,469	360,000	360,000				
	個人の貸出冊数	246,946	252,757	250,000	217,103	250,000	300,000				
	登録者数	16,189	17,012	17,800	17,709	18,000	20,000				
	（うち新規登録者数）	993	859	900	701	900	1,200				
	来館者数	149,201	163,702	160,000	101,925	150,000	155,000				
施策・事業	1　安心して暮らす子どもたちの豊かな心を育む図書館										
	１２歳以下子ども一人当たりの児童書数	20	22	24	25	24	23	B	・コロナ交付金を活用し、保育園や学校等への団体貸出用に児童書等を購入しました。 ・個人貸出が減少する中でも、学校等のリクエスト等もあり、団体貸出は増加しました。 ・学校図書館との懇談会等は、コロナ禍により実施できませんでした。	評点について ・A評価に近いBとしたいです。 ・概ね妥当と思われます。 ・1人当たりの児童書数・団体貸出数が伸びているので、この2つについてはA評価でも良いと思います。 ・コロナ交付金を活用し、保育園や学校等への団体貸出用児童書を購入し、一人あたりの児童書数を増やせたことは評価できます。また、団体貸出数も増やすことができたことを考えると、Aの評価といえるでしょう。 内容説明および自己評価について ・子ども一人当たりの児童書数、団体貸出冊数とも目標を上回っており、図書館の努力を評価したいです。蔵書の内容も充実しています。 ・学校図書館との懇談会は、コロナ禍により実施できなかったことは致し方ない事と思いますが、今後はオンライン開催にするなど、工夫できることがあるのではないでしょうか。書面等による意見交換等の取り組みについて検討されたのでしょうか。	・小・中・高等学校への団体貸出数の増加は、各学校の要望にきめ細かに対応した結果であると思う。 ・事業の実施はオンラインなど幅広い捉え方をするとよい。 ・希望図書の購入も含めて各学校との連携を強化して欲しい。その仲立ちのためにも、各校司書との意見交換の場（オンラインを含めて）が必要である。 ・保育園や小学校だけでなく、学童保育へのサービスなども考えながら、子どもたちの利用の向上につなげていって欲しい ・それぞれの項目を独立させて考えるのではなく、関係部署と連携し、団体貸出の利用が、移動図書館や学校図書館との懇談会なとと関わるように考慮していって欲しい。
	小・中・高等学校への団体貸出冊数	9,317	7,796	9,000	10,211	11,000	10,000				
	学校図書館との懇談会、合同研修会　回数	0	2	2	0	1	3				
	2　誰もが利用しやすい図書館										
	高齢者向けイベント　実施回数	0	0	1	0	1	4	C	・高齢者向けイベントは、コロナ禍により実施できませんでした。 ・移動図書館車は、４月～６月の間、団体貸出と個人の予約本の貸出のみとしたこともあり、貸出冊数は減少しました。また、市のイベント時に移動図書館車を活用する計画も検討しましたが、コロナ禍により、実施できませんでした。	評点について ・コロナ禍だけではなく、少し厳が重い様な気がします。もうひとつ何か気軽に出入りできる工夫がほしいです。 ・コロナ禍でもあり、妥当と思います。 ・コロナ禍にはオンライン活用が様々な場所で有効です。高齢者だから無理ではなく、高齢者だからこそ必要な事もありますので、オンライン利活用へのサポートにチャレンジできたらいいと思います。 内容説明および自己評価について ・利用者の意見を把握するための機会の設定は、コロナ禍の中でもできる内容なので、１０箇所すべてで、実施できるとよかったです。 ・紙のアンケートや意見箱だけでなく、パソコンやスマホから回答できるようにするなど、時代に合わせた様式を取り入れることも検討してください。 ・「利用者の意見を把握する機会の設定」の目標設定は妥当だったのでしょうか。 ・利用しやすい図書館とは、イベント開催や移動図書館車はもちろん有効です。そして利用者の意見、また利用していない市民のきえを収集することも大切だと思います。 ・移動図書館車での貸出冊数は、減少したものの、よく健闘していると思われます。	・利用者の意見・要望の集約は意見箱に頼らなくともよい。ネット予約の際の予約票に意見欄や要望欄を設けても収集できる。インターネットを利用した方が収集と分析が楽である。 ・意見箱の設置は難しい事ではないのではないか。その図書館の運営や図書のリクエストについて書くことができるよう設置すればいい。どんな意見があり、どんな対応をしたか全館でまとめ公表することで、自分の意見に反応が返ってくるようにする仕組みつくりが大切である。 ・人の動きなど、移動図書館にどこまで需要があるのか分析と検討が必要である。
	利用者の意見を把握する機会の設定（新年度目標）	1	1	10	1	2	10				
	移動図書館車での貸出冊数	4,604	4,316	4,000	3,774	4,000	5,000				

令和２年度事業実施評価

区分	評価指標	実績 H30	実績 R元	目標 R２	実績 R２	目標値 R３	目標値 R５	自己評点	内容説明および自己評価	図書館協議会委員からのご意見	外部評価
施策・事業	3　佐渡の歴史と文化の学びを支える図書館										
	郷土資料の蔵書冊数	33,950	35,110	36,500	36,101	36,500	36,000	B	・郷土資料の収集に努めましたが、全体的な貸出しが減少する中で、郷土資料の貸出も減少しました。 ・郷土資料を活用した事業は実施できませんでしたが、郷土資料は年々増加しており、今後効果的な活用を目指した事業計画が必要であると考えています。	評点について ・妥当であると考えます。 ・マニアックな郷土資料ではなく、「佐渡を愛する子どもの育成」につながる分かりやすい資料もあると、学校での活用につながると思います。 内容説明および自己評価について ・地域の特性が失われていく中で、資料の利活用から地域再生につながるような、今後一層有効活用される取り組みができないか期待します。 ・全体の貸出冊数の減少からすると大きな落ち込みではないので、郷土資料の収集や紹介がうまくいっていたのではないかと思います。資料の活用については博物館の展示や市民大学講座など、他の機関と連携して企画を考えてみるのも面白いのではないでしょうか。 ・貸出冊数の達成率よりもレファレンスにきちんと対応できているかどうかの評価も必要です。 ・郷土資料を活用した事業の実施について、企画として知ってもらう機会を設定するとよいと思います。例えば、「佐渡金銀山世界遺産コーナー」など、佐渡に関わるもので構成された、特設コーナーをつくることも一つの方法ではないかと思われます。最近人々の関心が高まり、注目を集めるものですので、企画すれば貸出数も増えるのではないかと思われます。これらについて市内外から問い合わせ、佐渡の小・中・高の「総合的な学習の時間」での利用に対応できるようにすべきであるし、それに関する事業も今後考えられるでしょう。	・郷土資料の蔵書数や貸出冊数は十分に満足できる数値である。 ・郷土資料の検索マニュアルをボランティアを募集して作成し充実すれば、さらに利用数の増加が期待できる。 ・郷土資料の検索について、より分かりやすく検索できる方法を周知してほしい。 ・郷土の歴史をより身近に感してもらうため、各図書館で所蔵している古文書などの展示等の企画も検討するとよいのではないか。
	郷土資料の貸出冊数	3,264	3,730	3,800	3,508	3,800	3,500				
	郷土資料を活用した事業の実施回数	0	0	1	0	1	2				
	4　市民と共にあり、育まれる図書館										
	予約冊数	56,389	58,547	60,000	66,479	68,000	60,000	B	・休館やサービス制限等から、ネット予約について積極的な啓発を行ったところ、ネットを利用した個人予約の件数が増加しました。 ・新着図書のリストについては、園児・児童向けと一般向けをそれぞれ、毎月発行しましたが、テーマことのリスト作成ができませんでした。 ・図書館を効率的に利用いただくため、新着案内や予約サービスの充実に努めていきたい。	評点について ・妥当であると考えます。 ・A評価に近いBとしたいです。 ・目標値について、実態を踏まえた数値に修正すべきです。 ・リストの発行回数未達成については、図書館の業務量に対して目標値が高かったのではないかと感します。 ・積極的な広報により、ネットの予約が増えているのは、大変評価できます。目標を大きく超えていることからAでもよいと思われます。 内容説明および自己評価について ・誰もが使いやすい方法をお知らせすることも大事なのではないでしょうか。 ・予約冊数について、ネット予約の積極的な啓発が要因であるのと思われるので評価したいです。 ・リストの発行は、次年度において確実に実施できるよう取り組んでください。 ・ネット社会にどんどん対応していく必要はありますが、図書館での交流、窓口レファレンスでの新たな気づきなど、人とのふれあいの場、あたたかみのある図書館であってほしいと思います。 ・新着図書のリストは分かりやすくて大変よいと思います。今後は、SNSを活用した分かりやすくて素早い紹介が工夫できるとよいと思います。 ・本の予約方法についてもSNS等でお知らせできるとよいと思います。併せて、蔵書にない本の購入と予約もできることを周知するとさらに増えるのではないかと思います。	・休館やサービス制限への対応はよい取組であった。 ・分野別、年令別の予約ランキング等の公表も宣伝効果があるのではないか。年間ではなく、ある期間を区切っての集計でもよい。 ・ボランティアの活動が増えるよう考慮してほしい。
	新着案内・テーマことのリスト　発行回数	24	24	28	24	30	30				
	5　市民の課題解決を支援する図書館										
	WiFiによる利用者用パソコンの設置（WiFi設置館数）	6館	6館	6館	6館	6館	10館	C	・コロナ禍による関係館の休館等もあり全体的な貸出しが減少する中で、相互貸借の冊数も減少しました。 ・検索サービス等の充実のため、令和3年度中に、中央図書館に強いWiFiを整備し、新潟日報の記事も検索できるパソコンを設置予定。 ・レファレンス事例紹介は行うことができませんでした。	評点について ・数字的には、確かに減少傾向でC評価となっていますが、相互貸借に頼らなくても市内の図書館で所蔵していたと考えられ、佐渡市図書館が充実してきたとも言えます。 ・妥当であると考えます。 ・環境改善と同時にPRもお願いします。 内容説明および自己評価について ・全体の貸出冊数が減少しているので、相互貸借が目標値を下回ったことはやむを得ないと思います。 ・検索サービスやレファレンスが充実することで、利便性が向上し相互貸借が活発になると思うので、体制作りに期待します。 ・レファレンス事例の紹介が実施できなかったのはなぜでしょうか。課題解決の具体例を知る機会になると思います。早い実施を希望します。 ・令和3年度に、中央図書館に強いWi-Fiを整備し、新聞データ記事検索ができる端末を設置予定とのことですが、とても良いことだと思います。Wi-Fiの整備が進むことを望みます。 ・検索できるパソコンがない4つの図書館にも早めに設置できるようにしてほしいと思います。	・図書館で学習できる環境を整えていくことが今の時代には必要である。 ・図書館協議会委員のご意見にもあるように、WiFiの未設置4館の設置を計画的に進めてほしい。令和5年まであと2年しかない。 ・図書館の活用方法等の情報を市報やホームページ等でもっと発信すべきである。（例えば、パソコン初心者でも分かりやすいホームページの使い方や、図書館の利用方法の動画での紹介等。） ・レファレンスの事例紹介について、窓口等での対応事例を数字的に把握分析しながら、計画的に実施できるよう検討してほしい。
	相互貸借冊数	1,489	1,761	1,800	1,352	1,800	2,000				
	レファレンスの事例紹介　発行回数	0	0	2	0	2	3				

(3)令和３年度評価

1)基本的サービス・図書館運営

【事務局自己評価】B 評価

コロナ禍により落ち込んだ利用も、令和３年度は回復基調にあった。蔵書冊数、個人の貸出冊数は目標値を上回ったものの、登録者数や来館者数で下回ったため B。

数値ばかりでなく、図書館・図書室の蔵書の内容面についても、適切な除架・除籍を行い、利用したくなる書架を維持できるよう努めたい。

【図書館協議会委員意見】

○評点について

・妥当な評価だと思う。

○内容説明および自己評価について

・新規登録者数が増加傾向にあるのは努力の成果である。除籍冊数も掲げてほしい。

・コロナ禍の中で貸出冊数を令和元年程度に回復できたのは、健闘していると思われる。

・登録者数が、対前年比で△2,293 人と大幅な減となっている要因をどの様に捉えているのか。

・コロナ禍の中でも足を運びやすい工夫をお願いしたい。

・展示の工夫等、図書館の努力の様子が見え好感が持てた。

・登録者については、目標が高すぎ(若者の人口減)。次回は無理のない数値にすべき。

【外部評価】

○評点について

・妥当な評価だと思う。

内容説明および自己評価について

・目標蔵書冊数を３６万冊としているようだが、除籍する本の経過年数や貸出頻度といった基準は設けているのか。また、除籍された本の処理方法等で課題があるようなら、予算面での支援も含めて対策が必要だと思う。

・図書館協議会委員の意見にもあるように、人口数の減少の中、登録者数の目標値は検討する必要がある。

・令和５年度まで蔵書数は維持できると思うが、古い本などをどんどん処理していかないと図書の管理が難しくなる。除籍作業にアルバイトを活用するなど、処理等について予算要望などが必要ではないか。

・WITH コロナの中で、閲覧席や学習席の席数などを鑑みて、理想的な来館者数の目標値について検討が必要だと思う。

・学習室についても、新型コロナウイルスに対応した利用方法を工夫してみてほしい。

2)施策・事業

①佐渡に暮らす子どもたちの豊かな心を育む図書館

【事務局自己評価】B 評価

R2 年度コロナに関する交付金により購入した児童書を、R3 度から「定期便」として小学校向けに団体貸出を行った。10 校、999 冊貸出。

学校図書館との懇談会等はコロナ禍により実施できなかったため B。

【図書館協議会委員意見】

○評点について

・妥当（懇談会が開かれなかったのは残念）

・学校そのものが休校、学年・学級閉鎖等で懇談会や研修会は無理なので A に

しても良いのではないか。

○内容説明および自己評価について

・学校図書館の司書の方との懇談会は今後必要であると考えるので、コロナ禍に関係なく行うべきである。

・「定期便」の団体貸出は非常に有効だと思うが、学校側の要望や感想も評価に示してほしかった。

・コロナ対策として、学校でもオンライン環境が整備されていると理解しており、オンラインで実施できなかったのか。

・佐渡市のビジョンに関わった現場の意見を伝えられる機会を設けていただきたい。

・子どもの読書環境の充実への努力は評価したい。子どもの学びや今後の利用者増のためにも、子どもと本や図書館を繋ぐことは大切なこと。学校との連携に力を入れていただきたい。

【外部評価】

○評点について

・妥当な評価だと思う。

○内容説明および自己評価について

・学校への貸出冊数が増えている点は大いに評価できる。定期便等の取組の成果だと思う。今後もきめ細かな対応ができる図書館であってほしい。

・子どもたちからの意見や感想をフィードバックできる、子ども図書館だより等の広報活動にも力を入れてもらいたい。その意味からも学校医図書館職員との連携は重要になってくると思う。

・学校図書館との懇談会の実施方法について、学校側から図書館に期待するものがあれば、それについて意見をもらい、ペーパー等で回答するという形でも

良いと思う。

②誰もが利用しやすい図書館

【事務局自己評価】B 評価

高齢者向けイベントもコロナ禍により実施できなかった。移動図書館は感染流行期には、車内での図書選びをやめ団体貸出に切り替えるなど、感染対策を行いながら実施した。

【図書館協議会委員意見】

○評点について

・「誰もが利用しやすい」という目標は、利用者に合わせた検討が必要ではないか。

・自己評価は概ね妥当と思われる。

○内容説明および自己評価について

・高齢者向けのイベントは難しいと思うが、高齢福祉課との連携等で行うことも必要であると思う。図書館ごとに展示を充実するなど、図書館へまず足を運ぶ方法を考えて頂きたい。

・意見の収集には、いろいろな方法を活用するのがいいと思う。

・コロナ感染の状況により、図書館側の感染予防体制など図書館見学が可能かどうか目安になる情報があると良いと感じた。

・コロナ禍により、特にハイリスクと言われる高齢者を対象としたイベントを実施できなかったことはやむを得ない。利用者の安全を考え、移動図書館の運用方法も臨機応変に対応されており、図書館の配慮に感謝したい。

【外部評価】

○評点について

・妥当な評価だと思う。

○内容説明および自己評価について

・利用しやすい図書館という視点から、各図書館のバリアフリー化などで検討が必要な面はないのか。

・移動図書館の活用が、コロナ禍で制限を受けた面はあるが、評価できる数値である。

・移動図書館の来訪地の施設を遠隔地ステーションとして、予約の受付や返却等の業務を支援できないか検討して欲しい。

・移動図書館について、予約資料の受取ができることは良いことなので、図書館に行けない人に少しでも利用してもらえるよう努力してもらいたい。

③佐渡の歴史と文化の学びを支える図書館

【事務局自己評価】A評価

新しく出版された郷土資料の収集に努めた。利用全体の回復基調に伴い、郷土資料の貸出冊数も増加している。郷土資料を活用した展示を行った。

【図書館協議会委員意見】

○評点について

・企画展に結びつけた図書コーナーの設置は、大変評価する。

・自己評価は概ね妥当と思われる。

○内容説明および自己評価について

・郷土資料を生かした展示を開催できたことがよかった。

・郷土資料の検索を簡単に出来るシステムがあれば、より広範囲に利活用しやすくなると思う。

・佐渡の歴史等に詳しい方々の意見も取り入れるといいと思う。

・蔵書冊数、貸出冊数とも順調に伸びており、佐渡市図書館としての重要な役割を果たしていることを評価し、努力に感謝したい。これからも充実した資料の収集と活用がなされることを期待する。

【外部評価】

○評点について

・妥当な評価だと思う。

○内容説明および自己評価について

・令和３年度は郷土資料の貸し出し冊数が大きく伸びているが、何か効果的な取組があったのか。

・目標蔵書数や貸出冊数は、現状分析と今後の予想を十分に検討してもらいたい。

・佐渡博物館の特別展示に合わせた展示を、所蔵している資料を活用して行っても良いと思う。

・全てを中央図書館で行うのではなく、展示の際に内容に合わせて実施館を選んではどうか。その展示のPRを中央図書館で行えば、他館の展示も意識してもらうことができる。

④市民と共に歩み、愛される図書館

【事務局自己評価】A評価

インターネットによる予約サービスについて利用ガイドを作成し、利便性の向上を図った。新着リストによる情報提供もあいまって、個人の予約件数が増加している。また小学校向けの授業に役立つブックリストの作成を行った。

【図書館協議会委員意見】

○評点について

・ネット利用で利便性が向上し、実績に結びついた点を高く評価する。

・小学校向け授業で役立つ図書リストはありがたかった。

○内容説明および自己評価について

・新着案内、リストの発行により、予約冊数が大幅に増えたことは評価する。ネットでの予約サービスのガイド作成等、市民にとっては更に親しみやすく利用しやすい図書館になったと思う。

・積極的に利便性の向上を図ったことにより、利用が増えたことはとてもよい。今後も、タイムリーな情報提供をお願いしたい。

・サービスの向上と情報提供の工夫の成果が数字として表れており、引き続き努力されたい。

・小学校向けブックリストの作成等、学習環境向上のサポートもできており素晴らしい。今後、中学校向けのリスト作成も検討していただきたい。

【外部評価】

○評点について

・妥当な評価だと思う。

○内容説明および自己評価について

・予約冊数の増加やリストの発行など、成果が見える取組であった。特にリストの発行など時間のかかる取組だと思うが職員の努力に感謝する。

・図書のタイトルを並べるだけでなく、本の内容が利用者に分かりやすく PR できる方法を工夫してみてほしい。

⑤市民の課題解決を支援する図書館

【事務局自己評価】B 評価

令和 3 年度、新潟県立図書館の「新潟県内小規模図書館等支援事業」を活用し、両津図書館で 200 冊、さわた図書館で 300 冊を借り受け、利用者に提供した。また中央図書館の AV コーナーにインターネットに接続したパソコンを設置、供用開始。レファレンスの事例紹介の発行ができなかったため B。

【図書館協議会委員意見】

○評点について

・支援事業の活用は、今後も範囲を広げて続けてほしい。

・レファレンスの事例紹介ができなかったのは残念である。

・自己評価は概ね妥当と思われる。

・A でも良いのではないか。

○内容説明および自己評価について

・団体貸出のネット予約ができるとありがたい。

・県立図書館の事業を活用することで相互貸借の冊数も増え、利用者にとってよい環境づくりができていると思う。

・ネット環境はなくてはならないものになっているので、公共の場として順調に整備されることを望む。

・レファレンス事例紹介は膨大で難しそうだが、まずはよくある事例を掲示やインターネット上で掲載してみてはどうか。

【外部評価】

○評点について

・妥当な評価だと思う。

○内容説明および自己評価について

・目標としている令和５年度中のWi-Fiの設置を、佐渡市に強くお願いしたい。

・レファレンスの事例紹介は、利用者の参考になる点や紹介したい事例がある時だけ紹介するだけでよいと思う。発行回数等に捉われる必要はないと思う。

・「いつでもご相談ください」などの案内をすれば、事例紹介までは必要ないのではないか。

・よくあるレファレンス事例を紙にまとめたり、ホームページの「よくある質問」コーナーに掲載したりしておけば、利用者が参照することができるのではないか。

【外部委員による総評】

・この評価が次年度の予算に活かされるよう、評価時期の調整などをしてもらいたい。

・評価を参照して、将来像に向けて目標値・目標項目を設定してほしい。

・職員間で軋轢が生まれないよう、人員の配置など心配りをお願いする。

・これからの図書館がどうなっていくべきなのか、図書館協議会や教育委員会、市議会などで議論していってほしい。

令和３年度実施計画評価

令和3年度　図書館ビジョン事業実施計画評価票

区分	評価指標	実績 R元	実績 R2	実績 R3	前年度比	目標値 R3	目標値 R4	目標値 R5	自己評点	内容説明および自己評価	図書館協議会委員からのご意見	外部評価
図書館運営	基本的サービス											
	資料購入費・決算数値（千円）	11,135	13,865	[illegible]	▲ 2,602	－	[illegible]	－			評点について ・妥当な評価だと思う。 内容説明および自己評価について ・新規登録者数が増加傾向にあるのは努力の成果である。除籍冊数も掲げてほしい。 ・コロナ禍の中で貸出冊数を令和元年程度に回復できたのは、健闘していると思われる。 ・登録者数が、対前年比で△2,293人と大幅な減となっている要因をとの様に捉えているのか。 ・コロナ禍の中でも足を運びやすい工夫をお願いしたい。 ・展示の工夫等、図書館の努力の様子が見え好感が持てた。 ・登録者については、目標が高すぎ(若者の人口減)。次回は無理のない数値にすべき。	評点について ・妥当な評価だと思う。 内容説明および自己評価について ・目標蔵書冊数を３６万冊としているようだが、除籍する本の経過年数や貸出頻度といった基準は設けているのか。また、除籍された本の処理方法等で課題があるようなら、予算面での支援も含めて対策が必要だと思う。 ・図書館協議会委員の意見にもあるように、人口数の減少の中、登録者数の目標値は検討する必要がある。 ・令和5年度まで蔵書数は維持できると思うが、古い本などをどんどん処理していかないと図書の管理が難しくなる。除籍作業にアルバイトを活用するなど、処理等について予算要望などが必要ではないか。 ・WITHコロナの中で、閲覧席や学習席の席数などを鑑みて、理想的な来館者数の目標値について検討が必要だと思う。 ・学習室についても、新型コロナウイルスに対応した利用方法を工夫してみてほしい。
	蔵書冊数	352,736	361,469	[illegible]	1,513	350,000	360,000	350,000				
	個人の貸出冊数	252,757	217,103	[illegible]	34,784	250,000	[illegible]	300,000				
	登録者数	17,012	17,709	[illegible]	▲ 2,293	15,000	[illegible]	20,000				
	（うち新規登録者数）	859	701	[illegible]	139	900	[illegible]	1,200				
	来館者数	163,702	101,925	[illegible]	19,039	150,000	[illegible]	155,000				
施策・事業	3　佐渡に暮らす子どもたちの豊かな心を育む図書館											
	１２歳以下子ども一人当たりの児童書数	22	25	[illegible]	0	24	[illegible]	23			評点について ・妥当（懇談会が開かれなかったのは残念） ・学校そのものが休校、学年・学級閉鎖等で懇談会や研修会は無理なのでAにしても良いのではないか。 内容説明および自己評価について ・学校図書館の司書の方との懇談会は今後必要であると考えるので、コロナ禍に関係なく行うべきである。 ・「定期便」の団体貸出は非常に有効だと思うが、学校側の要望や感想も評価に示してほしかった。 ・コロナ対策として、学校でもオンライン環境が整備されていると理解しており、オンラインで実施できなかったのか。 ・佐渡市のビジョンに関わった現場の意見を伝えられる機会を設けていただきたい。 ・子どもの読書環境の充実への努力は評価したい。子どもの学びや今後の利用者増のためにも、子どもと本や図書館を繋ぐことは大切なこと。学校との連携に力を入れていただきたい。	評点について ・妥当な評価だと思う。 内容説明および自己評価について ・学校への貸出冊数が増えている点は大いに評価できる。定期便等の取組の成果だと思う。今後もきめ細かな対応ができる図書館であってほしい。 ・子どもたちからの意見や感想をフィードバックできる、子ども図書館だより等の広報活動にも力を入れてもらいたい。その意味からも学校医図書館職員との連携は重要になってくると思う。 ・学校図書館との懇談会の実施方法について、学校側から図書館に期待するものがあれば、それについて意見をもらい、ペーパー等で回答するという形でも良いと思う。
	小・中・高等学校への団体貸出冊数	7,796	10,211	[illegible]	2,041	13,000	[illegible]	10,000				
	学校図書館との懇談会、合同研修会　回数	2	0	[illegible]	0	[illegible]	[illegible]	3				
	2　誰もが利用しやすい図書館											
	高齢者向けイベント　実施回数	0	0	[illegible]	0	[illegible]	[illegible]	4			評点について ・「誰もが利用しやすい」という目標は、利用者に合わせた検討が必要ではないか。 ・自己評価は概ね妥当と思われる。 内容説明および自己評価について ・高齢者向けのイベントは難しいと思うが、高齢福祉課との連携等で行うことも必要であると思う。図書館ごとに展示を充実するなど、図書館へまず足を運ぶ方法を考えて頂きたい。 ・意見の収集には、いろいろな方法を活用するのがいいと思う。 ・コロナ感染の状況により、図書館側の感染予防体制など図書館見学が可能かどうか目安になる情報があると良いと感じた。 ・コロナ禍により、特にハイリスクと言われる高齢者を対象としたイベントを実施できなかったことはやむを得ない。利用者の安全を考え、移動図書館の運用方法も臨機応変に対応されており、図書館の配慮に感謝したい。	評点について ・妥当な評価だと思う。 内容説明および自己評価について ・利用しやすい図書館という視点から、各図書館のバリアフリー化なとで検討が必要な面はないのか。 ・移動図書館の活用が、コロナ禍で制限を受けた面はあるが、評価できる数値である。 ・移動図書館の来訪地の施設を遠隔地ステーションとして、予約の受付や返却等の業務を支援できないか検討して欲しい。 ・移動図書館について、予約資料の受取ができることは良いことなので、図書館に行けない人に少しでも利用してもらえるよう努力してもらいたい。
	利用者の意見を把握する機会の設定（意見箱設	1	1	[illegible]	0	2	[illegible]	10				
	移動図書館車での貸出冊数	4,316	3,774	[illegible]	1	4,000	[illegible]	5,000				

令和３年度実施計画評価

令和3年度　図書館ビジョン事業実施計画評価票

区分	評価指標	実績 R元	実績 R2	実績 R3	前年度比	目標値 R３	目標値 R4	目標値 R５	自己評点	内容説明および自己評価	図書館協議会委員からのご意見	外部評価
施策・事業	3　佐渡の歴史と文化の学びを支える図書館											
	郷土資料の蔵書冊数	35,110	36,101	[illegible]	948	36,500	[illegible]	36,000			評点について ・企画展に結びつけた図書コーナーの設置は、大変評価する。 ・自己評価は概ね妥当と思われる。 内容説明および自己評価について ・郷土資料を生かした展示を開催できたことがよかった。 ・郷土資料の検索を簡単に出来るシステムかあれば、より広範囲に利活用しやすくなると思う。 ・佐渡の歴史等に詳しい方々の意見も取り入れるといいと思う。 ・蔵書冊数、貸出冊数とも順調に伸びており、佐渡市図書館としての重要な役割を果たしていることを評価し、努力に感謝したい。これからも充実した資料の収集と活用がなされることを期待する。	評点について ・妥当な評価だと思う。 内容説明および自己評価について ・令和３年度は郷土資料の貸し出し冊数が大きく伸びているが、何か効果的な取組があったのか。 ・目標蔵書数や貸出冊数は、現状分析と今後の予想を十分に検討してもらいたい。 ・佐渡博物館の特別展示に合わせた展示を、所蔵している資料を活用して行っても良いと思う。 ・全てを中央図書館で行うのではなく、展示の際に内容に合わせて実施館を選んではどうか。その展示のPRを中央図書館で行えば、他館の展示も意識してもらうことができる。
	郷土資料の貸出冊数	3,730	3,508	[illegible]	1,986	3,800	[illegible]	3,500				
	郷土資料を活用した事業の実施回数	0	0	[illegible]	1	1	[illegible]	2				
	4　市民と共に歩み、育まれる図書館											
	予約冊数	58,547	66,479	[illegible]	8,033	68,000	[illegible]	60,000			評点について ・ネット利用で利便性が向上し、実績に結びついた点を高く評価する。 ・小学校向け授業で役立つ図書リストはありがたかった。 内容説明および自己評価について ・新着案内、リストの発行により、予約冊数が大幅に増えたことは評価する。ネットでの予約サービスのカイト作成等、市民にとっては更に親しみやすく利用しやすい図書館になったと思う。 ・積極的に利便性の向上を図ったことにより、利用が増えたことはとてもよい。今後も、タイムリーな情報提供をお願いしたい。 ・サービスの向上と情報提供の工夫の成果が数字として表れており、引き続き努力されたい。 ・小学校向けフックリストの作成等、学習環境向上のサポートもできており素晴らしい。今後、中学校向けのリスト作成も検討していただきたい。	評点について ・妥当な評価だと思う。 内容説明および自己評価について ・予約冊数の増加やリストの発行など、成果が見える取組であった。特にリストの発行など時間のかかる取組だと思うが職員の努力に感謝する。 ・図書のタイトルを並べるだけでなく、本の内容が利用者に分かりやすくPRできる方法を工夫してみてほしい。
	新着案内・テーマことのリスト　発行回数	24	24	[illegible]	18	30	[illegible]	30				
	5　市民の課題解決を支援する図書館											
	WiFiおよび利用者用パソコンの設置（WiFi設置	6館	6館	[illegible]	0	6館	[illegible]	10館			評点について ・支援事業の活用は、今後も範囲を広げて続けてほしい。 ・レファレンスの事例紹介ができなかったのは残念である。 ・自己評価は概ね妥当と思われる。 ・Aでも良いのではないか。 内容説明および自己評価について ・団体貸出のネット予約ができるとありがたい。 ・県立図書館の事業を活用することで相互貸借の冊数も増え、利用者にとってよい環境づくりができていると思う。 ・ネット環境はなくてはならないものになっているので、公共の場として順調に整備されることを望む。 ・レファレンス事例紹介は膨大で難しそうだが、まずはよくある事例を掲示やインターネット上で掲載してみてはどうか。	評点について ・妥当な評価だと思う。 内容説明および自己評価について ・目標としている令和５年度中のWiFiの設置を、佐渡市に強くお願いしたい。 ・レファレンスの事例紹介は、利用者の参考になる点や紹介したい事例がある時だけ紹介するだけでよいと思う。発行回数等に捉われる必要はないと思う。 ・「いつでもご相談ください」などの案内をすれば、事例紹介までは必要ないのではないか。 ・よくあるレファレンス事例を紙にまとめたり、ホームページの「よくある質問」コーナーに掲載したりしておけば、利用者が参照することができるのではないか。
	相互貸借冊数	1,761	1,352	[illegible]	527	1,800	[illegible]	2,000				
	レファレンスの事例紹介　発行回数	0	0	[illegible]	0	2	[illegible]	3				

外部委員による総評	
	・この評価が次年度の予算に活かされるよう、評価時期の調整などをしてもらいたい。 ・評価を参照して、将来像に向けて目標値・目標項目を設定してほしい。 ・職員間で軋轢が生まれないよう、人員の配置など心配りをお願いする。 ・これからの図書館がどうなっていくべきなのか、図書館協議会や教育委員会、市議会などで議論していってほしい。

※「自己評点」について：　A：目標値を上回って達成　B:目標とおり達成　C:目標値を下回った

(4)令和４年度評価

1)基本的サービス・図書館運営

【事務局自己評価】B 評価

令和４年度は、令和３年度より貸出は微減、登録者は減少したものの、来館者が増加している。コロナ下で減少した雑誌や新聞の閲覧に来館する人が戻りつつある。蔵書冊数は、除架除籍を行うなど適正な書架を維持できるよう努めたい。

【図書館協議会委員意見】

〇評点について

・妥当な評価だと思う。

・実績が目標値に届いていない項目が複数あり、数値の差も小さくはないので、B とするにはやや厳しいのではないか。目標値が全体的に高すぎる。

・人口減なので目標値が高すぎる。努力でクリアできそうな目標値を設定するとともに、多くの人が図書館を利用したくなるような環境づくりができるとよい。

〇内容説明および自己評価について

・昨年度の外部評価にある「人口減少が続く中、登録者数の目標値は検討する必要がある」との意見について、どの様に検討されたのか。

・“本”というものは大切なもの、大事なすばらしいもの、そんなアピールをすると本を読みたくなる人も増えるのではないか。

・コロナ感染の影響があるなかでも、来館者が戻ってきたのは良かった。

・蔵書の管理は、早めの対応が必要。

・資料購入費が増加したことは評価する。

・来館者数がこれだけ伸びているのに、貸出数が伸び悩んでいる原因は何か。分析し、その結果を基に次年度のアプローチを計画し、貸出数の増加につなげてほしい。

・限られた予算でがんばっていると思う。

・書架スペースについての確保は課題。重複図書の扱いを考える必要がある。

2)施策・事業

①佐渡に暮らす子どもたちの豊かな心を育む図書館

【事務局自己評価】A 評価

令和 4 年度は、絵本フェスタの実施、おでかけ図書館の実施など、子どもを対象とした行事等を積極的に実施してきた。週末に図書館に来る親子連れを多く目にする。またパワーアップ事業定期便（小学校へのセット図書貸出）も利用され、子どもたちへの読書環境の充実に貢献している。

【図書館協議会委員意見】

〇評点について

・妥当な評価だと思う。

〇内容説明および自己評価について

・どの施策もすばらしい。絵本フェスタの参加者８７人もすばらしい。

・各種イベントの開催により図書館利用者の促進に向けた取り組みや、学校や団体への貸出冊数も増加しており、関係者の努力を評価したい。

・セット図書の貸出も伸びているので続けてほしいです。

・子どもの読書環境充実のための施策、事業は充実していると思う。工夫を凝らしたイベント等で本に親しむ機会の提供や図書館へ足を運ぶきっかけづくりができていた。学校図書館との連携もできているので、今後も積極的に子ども達をサポートしていただきたい。

・目標値を大幅に増加したのは、職員の努力と評価する。
　親子を対象としたイベントを実施できたことは評価する。

・コロナ禍の中で、学校への団体貸出数を増やしていったことは評価できる。また、研修会の実施も評価できる。

・各種イベント等の開催頻度や対象者向けの内容を検討し、実施回数や参加者数の増加を期待する。

・内容説明および自己評価については良いと思う。

・限られたスペースや予算で運営上の工夫をし、がんばっている。

②誰もが利用しやすい図書館

【事務局自己評価】B 評価

令和 4 年度は、音声図書（CD）やプレクストークの貸出を開始した。高齢者をメインターゲットに据えてはいないもの、認知症ブックフェアの開催に合わせ認知症サポーター養成講座を実施したり、落語を行うなど、高齢者が参加できる行事を実施した。また 7・8 月に開館時・開館日に関するアンケートを行った。

【図書館協議会委員意見】

○評点について

・妥当な評価だと思う。

・前年に比較して数値が改善していないことから、妥当とは思えない。

・イベントが 1 回もなかったことが残念。

○内容説明および自己評価について

・誰もが利用しやすい図書館を目指し、4 年度において音声図書や再生機器を導入するなどの取り組みは評価したいが、その利用状況はどの様になっているか。

・高齢者の方へのイベント等気軽にできることがあればいいと思う。

・高齢者や障がい者向けの読書支援は今後も続けてもらいたいし、周知活動にも力を入れてもらいたい。移動図書館車の貸出冊数は、時々の状況に左右されるので目標値は目安でいいと思う。

・「高齢者」がメインターゲットのイベントは、「子ども向け」よりテーマ決めが難しいと思う。日常の貸出業務の会話の中にニーズやヒントがあるかもしれないので、市民の声を読み取って様々なチャレンジをしていただきたい。

・各館ともにテーマを決めて図書展示をしたことは評価する。

・貸出数については横ばいであるが、令和元年度との比較をするとかなり減っているので、その原因と対策を考える必要があると思われる。

・コロナ禍で「高齢者向けイベント」が実施しにくい状況は理解できるが、「利用者の意

見を把握する機会の設定」が数年前から改善が見られていない。何かしら対策を考えているのかどうか、そうでなければ目標値を見直す必要を強く感じる。また、移動図書館の実施についてはよいと感じるが、継続していくためにも来場者数の状況や周知状況についての確認をきちんと行って貸出冊数増加を狙っていきたい。

・内容説明および自己評価については良いと思う。

・施設が良いことも重要な点だと思う。

・施設の増設（閲覧室）なども考えていく必要がある。

③佐渡の歴史と文化の学びを支える図書館

【事務局自己評価】A 評価

新しく出版された郷土資料の収集に努めた。利用全体の回復基調に伴い、郷土資料の貸出冊数も増加している。令和 4 年度はトキや佐渡金銀山、佐渡出身者の図書の展示を行うなど普及に努めた。

【図書館協議会委員意見】

○評点について

・妥当な評価だと思う。

○内容説明および自己評価について

・郷土資料のような資料こそ図書館の専門性を発揮できるのではないか。

・郷土に力を入れている様子が伺える。

・引き続き郷土資料の収集に努められたい。

・今後歴史や文化に関する資料の重要性が増すと思われます。タイムリーな対応や、将来を見据えた企画展の開催（博物館との連携）を期待する。

・郷土資料の収集・貸出数ともに申し分なく、市民のニーズに応えることができていると思う。博物館等の施設での展示や市内で開催されるイベントに合わせて展示コーナーを設けるなど、相乗効果が生まれるような活用を期待している。

・郷土資料の収集については、努力していると感じる。

・これから世界遺産との関連で、さらに必要とされるので、蔵書冊数を充実させていく

ことが必要である。また、世界遺産関連図書のイベントなど、考えていく必要性があると思われる。

・「郷土資料を活用した事業の実施回数」が増加し、目標値を上回ったことは高く評価したい。若い世代にも興味を持ってもらえるような展示やアプローチについても積極的に行っていってほしい（例：蔵書の見どころを抜粋、どれだけ高価値な蔵書かＰＲ）。

・内容説明および自己評価については良いと思う。

④市民と共に歩み、愛される図書館

【事務局自己評価】A 評価

窓口やネット予約が堅調に増加している。

毎月の新着案内のほか、読書感想文の課題図書リスト、認知症ブックフェアにあわせ認知症に関する図書リスト、絵本フェスタにあわせ絵本のおかしづくりに関するブックリストを作成した。

【図書館協議会委員意見】

〇評点について

・妥当な評価だと思う。

〇内容説明および自己評価について

・すばらしい取り組みかと思う。

・テーマ別ブックリストの作成効果か、予約冊数は目標値を大きく超えており、関係者の努力を評価したい

・ネット予約や各種リストの作成で、利用しやすくなったことを評価します。

・インターネット予約が市民に定着し、更なる図書館の利用促進につながることを期待する。掲示板、展示コーナー、新着案内やブックリストなども充実しており、市民に必要とされる「情報ハブ」になっていると感じる。

・ネット予約が年々増加している。毎月の新着案内が、月初めにきちんと発行されていることを評価する。

・新着案内やテーマごとのリストの発行回数を増やし、予約数を増やしてほしい。

・簡易的なものでも構わないので、こまめにブックリストを増やしたり更新していってほしい。

・内容説明および自己評価については良いと思う。

・私家本などにも目を配っていく必要がある。

・マンパワーの不足もあるが、博物館との蔵書検索の方向性も考えてほしい。

⑤市民の課題解決を支援する図書館

【事務局自己評価】B 評価

新潟県立図書館の「新潟県内小規模図書館等支援事業」を活用し、両津図書館で 200 冊、さわた図書館で 100 冊を借り受け、利用者に提供した。ホームページ上にレファレンスの事例紹介を行った。Wi-Fi の設置ができなかった。

【図書館協議会委員意見】

○評点について

・妥当な評価だと思う。

・A評価でもよいと思う。

○内容説明および自己評価について

・Wi-Fi の設置ができなかったことの理由は何か。

・今の時代、Wi-Fi 設備は必要不可欠なものとなっており、早期に整備されるよう望みたい。今後の入館者、貸出冊数を増やすためにも必要なことだと思われる。

・いろいろな事業を活用し、市民の課題解決に取り組んでいる工夫や努力を評価する。

・レファレンス事例のホームページへの掲載はとてもよかった。事例を共有することで職員の負担も減り、利用者にとっても役立つ情報発信になると思う。

・相互貸借が減っているのは、さほど評価に影響しない。

・財政状況の見直しを進め、今後の Wi-Fi 設置については数値向上を行ってほしい。

・内容説明および自己評価については良いと思う。

【事務局自己総評】

令和４年度のビジョン前期総評価に関しては、コロナ禍で「高齢者向けイベント」が実施できなかった。また、財政的な理由で Wi-Fi 設置ができなかったとの課題はあったものの、多くの方から図書に親しみ、図書館に訪れるきっかけづくりとして、親子で楽しむ絵本フェスタの実施、おでかけ図書館の実施など、多くの行事等を積極的に実施してきた。またパワーアップ事業定期便（小学校へのセット図書貸出）利用、音声図書（CD）やプレクストークの貸出を開始等の事業を行い、一定程度の成果があったと評価する。

令和４年度実施計画評価

区分	評価指標	実績 R元	実績 R２	実績 R3	実績 R4	前年度比	目標値 R4	目標値 R５	自己評点	内容説明および自己評価	図書館協議会委員からのご意見	外部評価
図書館運営	基本的サービス											
	資料購入費・決算数値（千円）	11,135	13,865	11,263	12,911	1,648	－	－	B	令和4年度は、令和3年度より貸出は減少、登録者は減少したものの、来館者が増加している。コロナ下で減少した雑誌や新聞の閲覧に来館する人が戻りつつある。蔵書冊数は、特別除籍を行うなど適正な蔵書を維持できるよう努めたい。	評点について ・妥当な評価だと思う。 ・実績が目標値に届いていない項目が複数あり、数値の差も小さくはないので、Bとするにはやや厳しいのではないか。目標値が全体的に高すぎる。 ・人口減なので目標値が高すぎる。努力でクリアできそうな目標値を設定するとともに、多くの人が図書館を利用したくなるような環境つくりができるとよい。 内容説明および自己評価について ・昨年度の外部評価にある「人口減少が続く中、登録者数の目標値は検討する必要がある」との意見について、どの様に検討されたのか。 ・"本"というものは大切なもの、大事なすばらしいもの、そんなアピールをすると本を読みたくなる人も増えるのではないか。 ・コロナ感染の影響があるなかでも、来館者が戻ってきたのは良かった。 ・蔵書の管理は、早めの対応が必要。 ・資料購入費が増加したことは評価する。 ・来館者数がこれだけ伸びているのに、貸出数が伸び悩んでいる原因は何か、分析し、その結果を基に次年度のアプローチを計画し、貸出数の増加につなげてほしい。 ・限られた予算でがんばっていると思う。 ・書架スペースについての確保は課題。重複図書の扱いを考える必要がある。 ・「基本的サービス」について、内容説明および自己評価については良いと思う。	
	蔵書冊数	352,736	361,469	362,982	365,428	2,446	360,000	360,000				
	個人の貸出冊数	252,757	217,103	251,887	244,558	▲ 7,329	270,000	300,000				
	登録者数	17,012	17,709	15,416	15,158	▲ 258	19,000	20,000				
	（うち新規登録者数）	859	701	840	559	▲ 281	900	1,200				
	来館者数	163,702	101,925	120,964	127,060	6,096	150,000	155,000				
施策・事業	1　佐渡に暮らす子どもたちの豊かな心を育む図書館											
	１２歳以下子ども一人当たりの児童書数	22	25	25	27	2	25	23	A	令和4年度は、絵本フェスタの実施、おでかけ図書館の実施など、子どもを対象とした行事等を積極的に実施してきた。週末に図書館に来る親子連れを多く目にする。またパワーアップ事業定期便（小学校へのセット図書貸出）も利用され、子どもたちへの読書環境の充実に貢献している。	評点について ・妥当な評価だと思う。 内容説明および自己評価について ・どの施策もすばらしい。絵本フェスタの参加者８７人もすばらしい。 ・各種イベントの開催により図書館利用者の促進に向けた取り組みや、学校や団体への貸出冊数も増加しており、関係者の努力を評価したい。 ・セット図書の貸出も伸びてるので続けてほしいです。 ・子どもの読書環境充実のための施策、事業は充実していると思う。工夫を凝らしたイベント等で本に親しむ機会の提供や図書館へ足を運ぶきっかけづくりができていた。学校図書館との連携もできているので、今後も積極的に子ども達をサポートしていただきたい。 ・目標値を大幅に増加したのは、職員の努力と評価する。 親子を対象としたイベントを実施できたことは評価する。 ・コロナ禍の中で、学校への団体貸出数を増やしていったことは評価できる。また、研修会の実施も評価できる。 ・各種イベント等の開催頻度や対象者向けの内容を検討し、実施回数や参加者数の増加を期待する。 ・「佐渡に暮らす子どもたちの豊かな心を育む図書館」の内容説明および自己評価については良いと思う。 ・限られたスペースや予算で運営上の工夫をし、がんばっている。	
	小・中・高等学校への団体貸出冊数	7,796	10,211	12,252	12,334	82	11,000	10,000				
	学校図書館との懇談会、合同研修会　回数	2	0	0	1	1	1	3				
	2　誰もが利用しやすい図書館											
	高齢者向けイベント　実施回数	0	0	0	0	0	1	4	B	令和4年度は、音声図書（CD）やプレクストークの貸出を開始した。高齢者をメインターゲットに据えてはいないものの、認知症ブックフェアの開催にあわせ認知症サポーター養成講座を実施したり、講演を行うなど、高齢者が参加できる行事を実施した。また7・8月に開館日・開館時間に関するアンケートを行った。	評点について ・妥当な評価だと思う。 ・前年に比較して数値が改善していないことから、妥当とは思えない。 ・イベントが１回もなかったことが残念。 内容説明および自己評価について ・誰もが利用しやすい図書館を目指し、4年度において音声図書や再生機器を導入するなどの取り組みは評価したいが、その利用状況はどの様になっているか。 ・高齢者の方へのイベント等気軽にできることがあればいいと思う。 ・高齢者や障がい者向けの読書支援は今後も続けてもらいたいし、周知活動にも力を入れてもらいたい。移動図書館車の貸出冊数は、時々の状況に左右されるので目標値は目安でいいと思う。 ・「高齢者」がメインターゲットのイベントは、「子ども向け」よりテーマ決めが難しいと思う。日常の貸出業務の会話の中にニーズやヒントがあるかもしれないので、市民の声を読み取って様々なチャレンジをしていただきたい。 ・各館ともにテーマを決めて図書展示をしたことは評価する。 ・貸出数については横ばいであるが、令和元年度との比較をするとかなり減っているので、その原因と対策を考える必要があると思われる。 ・コロナ禍で「高齢者向けイベント」が実施しにくい状況は理解できるが、「利用者の意見を把握する機会の設定」が数年前から改善が見られていない。何かしら対策を考えているのかどうか、そうでなければ目標値を見直す必要を強く感じる。また、移動図書館の実施についてはよいと感じるが、継続していくためにも利用者数の状況や周知状況についての確認をきちんと行って貸出冊数増加を狙っていきたい。 ・「誰もが利用しやすい図書館」の内容説明および自己評価については良いと思う。 ・施設が良いことも重要な点だと思う。 ・施設の増設（閲覧室）なども考えていく必要がある。	
	利用者の意見を把握する機会の設定（意見箱設置）	1	1	1	1	0	10	10				
	移動図書館車での貸出冊数	4,316	3,774	3,775	3,741	▲ 34	4,500	5,000				

令和４年度実施計画評価

区分	評価指標	実績 R元	実績 R2	実績 R3	R4	前年度比	目標値 R4	目標値 R5	自己評点	内容説明および自己評価	図書館協議会委員からのご意見	外部評価
施策・事業	3　佐賀の歴史と文化の学びを支える図書館											
	郷土資料の蔵書冊数	35,110	36,101	37,049	37,911	862	37,600	36,000	A	新しく出版された郷土資料の収集に努めた。利用全体が低迷基調に伴い、郷土資料の貸出冊数も増加している。令和4年度はトキワ住宅全整備、佐賀出身者の図書の展示を行うなど普及に努めた。	評価について ・妥当な評価だと思う。 内容説明および自己評価について ・郷土資料のような資料こそ図書館の専門性を発揮できるのではないか。 ・郷土に力を入れている様子が伺える。 ・引き続き郷土資料の収集に努められたい。 ・今後歴史や文化に関する資料の重要性が増すと思われます。タイムリーな対応や、将来を見据えた企画展の開催（博物館との連携）を期待する。 ・郷土資料の収集・貸出数ともに申し分なく、市民のニーズに応えることができていると思う。博物館等の施設での展示や市内で開催されるイベントに合わせて展示コーナーを設けるなど、相乗効果が生まれるような活用を期待している。 ・郷土資料の収集については、努力していると感じる。 ・これから世界遺産との関連で、さらに必要とされるので、蔵書冊数を充実させていくことが必要である。また、世界遺産関連図書のイベントなど、考えていく必要性があると思われる。 ・「郷土資料を活用した事業の実施回数」が増加し、目標値を上回ったことは高く評価したい。若い世代にも興味を持ってもらえるような展示やアプローチについても積極的に行っていってほしい（例：蔵書の見どころを抜粋、どれだけ高価な蔵書かＰＲ）。 ・「佐賀の歴史と文化の学びを支える図書館」の内容説明および自己評価については良いと思う。	
	郷土資料の貸出冊数	3,730	3,508	5,494	5,218	▲ 276	3,800	3,500				
	郷土資料を活用した事業の実施回数	0	0	1	3	2	1	2				
	4　市民とともに歩み、愛される図書館											
	予約冊数	58,547	66,479	74,512	74,998	486	68,000	60,000	A	窓口のネット予約が堅調に増加している。 毎月の新着案内のほか、読書感想文の課題図書リスト、郷土館ブックフェアにあわせ郷土館に関する図書リスト、絵本フェスタにあわせ絵本のおかしづくりに関するブックリストを作成した。	評価について ・妥当な評価だと思う。 内容説明および自己評価について ・すばらしい取り組みかと思う。 ・テーマ別ブックリストの作成効果が、予約冊数は目標値を大きく超えており、関係者の努力を評価したい。 ・ネット予約や各種リストの作成で、利用しやすくなったことを評価します。 ・インターネット予約が市民に定着し、更なる図書館の利用促進につながることを期待する。掲示板、展示コーナー、新着案内やブックリストなども充実しており、市民に必要とされる「情報ハブ」になっていると感じる。 ・ネット予約が年々増加している。毎月の新着案内が、月初めにきちんと発行されていることを評価する。 ・新着案内やテーマごとのリストの発行回数を増やし、予約数を増やしてほしい。 ・簡易的なものでも構わないので、こまめにブックリストを増やしたり更新していってほしい。 ・「市民と共に歩み、愛される図書館」について、内容説明および自己評価については良いと思う。 ・私家本などにも目を配っていく必要がある。 ・マンパワーの不足もあるが、博物館との蔵書検索の方向性も考えてほしい。	
	新着案内・テーマごとのリスト　発行回数	24	24	42	30	▲ 12	30	30				
	5　市民の課題解決を支援する図書館											
	WiFiおよび利用者用パソコンの設置（WiFi設置館数）	6館	6館	6館	6館	0	6館	10館	B	新潟県立図書館の「新潟県内公共図書館有支援事業」を活用し、市立図書館で100冊、きらめき高校で100冊を借り受け、利用者に提供した。ホームページよりレファレンスの事例紹介を行った。WiFiの設置ができなかった。	評価について ・妥当な評価だと思う。 ・A評価でもよいと思う。 内容説明および自己評価について ・WiFiの設置ができなかったことの理由は何か。 ・今の時代、WiFi設備は必要不可欠なものとなっており、早期に整備されるよう望みたい。今後の入館者、貸出冊数を増やすためにも必要なことだと思われる。 ・いろいろな事業を活用し、市民の課題解決に取り組んでいる工夫や努力を評価する。 ・レファレンス事例のホームページへの掲載はとてもよかった。事例を共有することで職員の負担も減り、利用者にとっても役立つ情報発信になると思う。 ・相互貸借が減っているのは、さほど評価に影響しない。 ・財政状況の見直しを進め、今後のWiFi設置については数値向上を行ってほしい。 ・「市民の課題解決を支援する図書館」の内容説明および自己評価については良いと思う。	
	相互貸借冊数	1,761	1,352	1,879	1,589	▲ 290	1,900	2,000				
	レファレンスの事例紹介　発行回数	0	0	0	2	2	2	3				
外部委員による総評												

※「自己評点」について…　A：目標値を上回って達成　B:目標とおり達成　C:目標値を下回った

(5)令和５年度評価（４月～２月）

1)基本的サービス・図書館運営

【事務局自己評価】 評価Ｂ

新型コロナウイルスが令和５年５月に５類に移行したこともあり、雑誌や新聞の閲覧に来館する人が戻りつつある。また猛暑の影響もあり、８月は来館者数が増加した。蔵書冊数は、除架除籍を行うなど適正な書架を維持できるよう努めたい。

貸出冊数はほぼ横ばいの見込み。今後は人口減の影響により、貸出、来館共に減少に転じると予想される。

2)施策・事業

①佐渡に暮らす子どもたちの豊かな心を育む図書館

【事務局自己評価】 評価Ａ

R2 年度にコロナ交付金で購入したパワーアップ事業定期便（小学校への図書貸出）を継続実施。このほかにも、子育て支援センターへの貸出や学校への読み聞かせなどを実施。学校図書館との合同の研修会も実施し、情報共有に努めた。

②誰もが利用しやすい図書館

【事務局自己評価】 評価Ｂ

令和５年度は音声ガイドや日本語字幕のついたバリアフリー映画の上映会を行った。また９月に行った認知症ブックフェアにあわせ認知症サポーター養成講座を中央図書館で開催した。落語の開催、講演会の開催など、大人を対象とした事業も実施している。意見箱は全館で設置。また７・８月に開館時・開館日に関するアンケートを行った。高齢者施設へ団体貸出も貸出先の拡充に努めた。

③佐渡の歴史と文化の学びを支える図書館

【事務局自己評価】 評価Ａ

新しく出版された郷土資料の収集に努めた。利用全体の回復基調に伴い、郷土資料の貸出冊数も増加している。令和5年度はジオパーク10周年に関連した図書の展示や、郷土に関する講演会を実施するなど、郷土資料の普及促進に努めた。

④市民と共に歩み、愛される図書館

【事務局自己評価】 評価A

窓口やネット予約が堅調に増加している。

毎月の新着案内のほか、読書感想文の課題図書リスト、認知症ブックフェアにあわせ認知症に関する図書リストなどを作成した。

⑤市民の課題解決を支援する図書館

【事務局自己評価】 評価B

新潟県立図書館の「新潟県内小規模図書館等支援事業」を活用し、両津図書館で100冊を借り受け、利用者に提供した。市外の図書を借り受け提供する相互貸借の仕組みについては、窓口等での案内を通じ定着している。

【事務局自己総評】

コロナが5類に移行し、来館者も戻りつつあることから、多くの方から図書館をご利用いただけるように、「新潟県内小規模図書館等支援事業」により100冊を借り受し、提供を行った。

また、ジオパーク10周年に関連した図書の展示、音声ガイドや日本語字幕のついたバリアフリー映画の上映会の開催、落語の開催、講演会の開催を実施しより多くの方が図書館に来ていただけるよう、また、誰もが利用できる図書館づくりを行ってきたことから、図書館ビジョンに対しての実績として一程度評価できるものと判断する。

また、博物館との連携事業として鳥越文庫視察研修を行った。

令和５年度実施計画評価（４月～２月）

区分	評価指標	実績 R元	R2	R3	R4	R6.2月末	R5年度末	目標値比較	目標値 R5	自己評点	内容説明および自己評価
図書館運営	基本的サービス										
	資料購入費・決算数値（千円）	11.135	13.865	11.263	12.911				—	B	
	蔵書冊数	352.736	361.469	362.982	365.428	[illegible]	360.000	0	360.000		
	個人の貸出冊数	252.757	217.103	251.887	244.558	[illegible]	[illegible]	▲ 58.000	300.000		
	登録者数	17.012	17.709	15.416	15.158	[illegible]	[illegible]	▲ 5,500	20.000		
	（うち新規登録者数）	859	701	840	559	[illegible]	660	▲ 540	1,200		
	来館者数	163.702	101.925	120.964	127.060	[illegible]	135.000	▲ 20.000	155.000		
施策・事業	1 住民に暮らす子どもたちの豊かな心を育む図書館										
	１２歳以下子ども一人当たりの児童書数	22	25	25	27	[illegible]	23	4	23	A	
	小・中・高等学校への団体貸出冊数	7.796	10.211	12.252	12.334	[illegible]	13.000	3.000	10.000		
	学校図書館との懇談会、合同研修会　回数	2	0	0	1	[illegible]	[illegible]	▲ 2	3		
	2 誰もが利用しやすい図書館										
	高齢者向けイベント　実施回数	0	0	0	0	[illegible]	1	▲ 3	4	B	
	利用者の意見を把握する機会の設定（意見箱設置）	1	1	1	1	[illegible]	10	0	10		
	移動図書館車での貸出冊数	4.316	3.774	3.775	3.741	[illegible]	4.500	▲ 500	5.000		
	3 住民の歴史と文化の学びを支える図書館										
	郷土資料の蔵書冊数	35.110	36.101	37.049	37.911	[illegible]	38.650	2.650	36.000	A	
	郷土資料の貸出冊数	3.730	3.508	5.494	5.218	[illegible]	4.000	1.400	3.500		
	郷土資料を活用した事業の実施回数	0	0	1	3	[illegible]	2	0	2		
	4 市民と共に歩み、愛される図書館										
	予約冊数	58.547	66.479	74.512	74.998	[illegible]	77.000	17.000	60.000	A	
	新着案内・テーマごとのリスト　発行回数	24	24	42	30	[illegible]	30	0	30		
	5 市民の課題解決を支援する図書館										
	WiFiおよび利用者用パソコンの設置（WiFi設置機数）	6館	6館	6館	6館	[illegible]	7	3	10館	B	
	相互貸借冊数	1.761	1.352	1.879	1.589	[illegible]	1.249	▲ 751	2.000		
	レファレンスの事例紹介　発行回数	0	0	0	2	[illegible]	2	▲ 1	3		
外部委員による総評											

※「自己評点」について…　A：目標値を上回って達成　B:目標どおり達成　C:目標値を下回った

(5)図書館ビジョン前期評価

1)基本的サービス・図書館運営

【総合評価】評価B

・令和2年よりコロナ感染が拡大し来館者数の減少はあったものの、令和3年度には個人の貸出冊数、新規登録者数がコロナ前を上回ったことから、基本的サービス・図書館運営に関しての総合評価は目標どおり達成と評価する。

2)施策・事業

①佐渡に暮らす子どもたちの豊かな心を育む図書館

【総合評価】評価B

・指標「12歳以下子ども一人当たりの児童書数」は令和2年度～令和5年度と目標を上回り達成できた。

指標「小・中・高等学校への団体貸出数」は、コロナ交付金を活用し、新型コロナウィルス感染症拡大防止による、子ども達の読書機会の減少への対策として、定期的に小学校への団体貸出を行う図書館パワーアップ事業により令和2年～令和5年度は目標を上回る実績となった。

指標「学校図書館との懇談会、合同研修会開催」は、令和元年度は、年度の目標の2回開催を達成できたものの、令和2年～令和5年に関しては目標を達成できなかった。

事業施策「佐渡に暮らす子どもたちの豊かな心を育む図書館」に関しての総合評価は目標どおり達成と評価する。

②誰もが利用しやすい図書館

【総合評価】評価C

・指標「高齢者向けイベント開催」は、令和元年～令和5年まで、コロナの影響もありいずれも目標に達成することができなかった。

コロナが5類に移行し令和5年度は、音声ガイドや日本語字幕のついたバリアフ

リー映画の上映会を行った。また９月に行った認知症ブックフェアにあわせ認知症サポーター養成講座を中央図書館で開催した。落語の開催、講演会を開催した。

また、高齢者施設へ団体貸出も実施するなど高齢者の読書支援を推進した。

指標「意見箱の設置」は令和元年～令和４年までは目標を達成できなかったが、令和５年度には目標を達成することができた。

指標「移動図書館車での貸出冊数」は目標を達成できなかった。移動図書館車の広報や、搭載の図書の充実等を図る必要がある。

事業施策「誰もが利用しやすい図書館」については目標を達成できなかったと評価する。

③佐渡の歴史と文化の学びを支える図書館

【総合評価】評価Ｂ（＋）

・指標「郷土資料の蔵書冊数」について令和元年令和２年は若干目標に届かなかったものの、令和３年度～令和５年度は目標冊数を上回ることができた。

指標「郷土資料の貸出冊数」について令和元年令和２年は若干目標に届かなかったものの、令和３年度～令和５年度は目標冊数を上回ることができた。

指標「郷土資料を活用した事業開催」

事業施策「佐渡の歴史と文化の学びを支える図書館」についての総合評価は目標を達成し、前期後半は目標を超すことができたと評価する。

④市民と共に歩み、愛される図書館

【総合評価】評価Ｂ（＋）

・指標「予約冊数」は令和元年以外の令和２年～令和５年は目標を上回ることができた。

指標「新着案内・テーマリスト発行」は令和元年～令和２年は目標に届かず、令和３年度は大きく上回り、令和４年度～令和５年度は目標通りとなる。

事業施策「市民と共に歩み、愛される図書館」についての総合評価は、目標を達成

することができ、令和３年度は目標を上回ることができたと評価する。

⑤市民の課題解決を支援する図書館

【総合評価】評価Ｂ（－）

指標「相互貸借の冊数」はコロナ前よりも、令和３年度が多くなってきている。

指標「レファレンスの事例紹介集発行」は令和元～3年は実施されなかったが令和４年度令和５年度は目標通り発行となっている。

指標「Wi-Fi 設置」については令和元年度～令和５年度で実施できなかった。

事業施策「市民の課題解決を支援する図書館」に関しての総合評価としては概ね目標達成と評価する。

【前期総合評価】

令和元年～令和５年の図書館ビジョン実施計画の前期の総合評価としては、コロナ禍のため、来館者数、貸出数が計画通り達成できない年度もあったが、感染症対策を行い、図書館を運営し、親子で楽しむ「絵本フェスタ」の開催、図書館アップ事業として小学校への団体貸出、高齢者施設の団体貸出推進、音声ガイドや日本語字幕のついたバリアフリー映画の上映会の開催、落語の開催等幅広く施策事業を行うことができ、図書館ビジョン達成のための事業が行えたと評価できる。

一方、目標としていた「Wi-Fi 設置」「学校図書館との懇談会、合同研修会開催」について達成ができず今後の課題を残した。

図書館ビジョン事業実施計画前期評価

区分	評価指標	R元 目標	R元 実績	R元 達成度	R元 自己評点	R2 目標	R2 実績	R2 達成度	R2 自己評点	R3 目標	R3 実績	R3 達成度	R3 自己評点	R4 目標	R4 実績	R4 達成度	R4 自己評点	R5 目標	R5 実績見込	R5 達成度	R5 自己評点	評価
図書館運営	基本的サービス																					
	資料購入費・決算数値（千円）	―	11,135	―	B	―	13,865	―	B	―	11,263	―	B	―	12,911	―	B	―	―	―	B	【総合評価】評価B ・令和2年よりコロナ感染が拡大し来館者数の減少はあったものの、令和5年度には個人の貸出冊数、新規登録者数がコロナ前を上回ったことから、基本的サービス・図書館運営に関しての総合評価は目標どおり達成と評価する。
	蔵書冊数	358,000	352,736	98.5%		358,000	361,469	101.0%		360,000	362,982	100.8%		360,000	365,428	101.5%		360,000	360,000	100.0%		
	個人の貸出冊数	250,000	252,757	101.1%		250,000	217,103	86.8%		250,000	251,887	100.8%		270,000	244,558	90.6%		300,000	246,132	82.0%		
	登録者数	17,800	17,012	95.6%		17,800	17,709	99.5%		18,000	15,416	85.6%		19,000	15,158	79.8%		20,000	15,919	79.6%		
	（うち新規登録者数）	900	859	95.4%		900	701	77.9%		900	840	93.3%		900	559	62.1%		1,200	761	63.4%		
	来館者数	160,000	163,702	102.3%		160,000	101,925	63.7%		150,000	120,964	80.6%		150,000	127,060	84.7%		155,000	142,778	92.1%		
施策・事業	1 佐渡に暮らす子どもたちの豊かな心を育む図書館																					
	12歳以下子ども一人当たりの児童書数	24	22	92.9%	B	24	25	104.2%	B	24	25	104.2%	B	25	27	108.0%	A	23	27	117.4%	A	【総合評価】評価B ・指標「12歳以下子ども一人当たりの児童書数」は令和2年度～令和5年度と目標を上回り達成できた。 指標「小・中・高等学校への団体貸出数」は、コロナ交付金を活用した新型コロナウィルス感染症拡大防止による、子ども達の読書機会の減少への対策として、定期的に小学校への団体貸出を行う図書館パワーアップ事業により令和2年～令和5年度は目標を上回る実績となった。 指標「学校図書館との懇談会・合同研修会開催」は、令和元年度は、年度の目標の2回開催を達成できたものの、令和2年～令和5年に関しては目標を達成できなかった。 事業施策「佐渡に暮らす子どもたちの豊かな心を育む図書館」に関しての総合評価は目標どおり達成と評価する。
	小・中・高等学校への団体貸出冊数	9,000	7,796	86.6%		9,000	10,211	113.5%		11,000	12,252	111.4%		11,000	12,334	112.1%		10,000	16,493	164.9%		
	学校図書館との懇談会・合同研修会 回数	2	2	100.0%		2	0	0.0%		1	0	0.0%		1	1	100.0%		3	1	33.3%		
	2 誰もが利用しやすい図書館																					
	高齢者向けイベント 実施回数	1	0	0.0%	C	1	0	0.0%	C	1	0	0.0%	B	1	0	0.0%	B	4	1	25.0%	B	【総合評価】評価C ・指標「高齢者向けイベント開催」は、令和元年～令和5年まで、コロナの影響もありいずれも目標に達成することができなかった。 コロナが5類に移行した令和5年度は、音声ガイドや日本語字幕のついたバリアフリー映画の上映会を行った。また9月に行った認知症ブックフェアにあわせ認知症サポーター養成講座を中央図書館で開催した。落語の開催、講演会を開催した。 また、高齢者施設へ団体貸出も実施するなど高齢者の読書支援を推進した。 指標「意見箱の設置」は令和元年～令和4年までは目標を達成できなかったが令和5年度には目標を達成することができた。 指標「移動図書館車での貸出冊数」は目標を達成できなかった。移動図書館車の広報や、搭載の図書の充実等を図る必要がある。 事業施策「誰もが利用しやすい図書館」については目標を達成できなかったと評価する。
	利用者の意見を把握する機会の設定（意見箱設置）	10	1	10.0%		10	1	10.0%		2	1	50.0%		10	1	10.0%		10	10	100.0%		
	移動図書館車での貸出冊数	4,000	4,316	107.9%		4,000	3,774	94.4%		4,000	3,775	94.4%		4,500	3,741	83.1%		5,000	4,963	99.3%		
	3 佐渡の歴史と文化の学びを支える図書館																					
	郷土資料の蔵書冊数	36,500	35,110	96.2%	B	36,500	36,101	98.9%	B	36,500	37,049	101.5%	A	37,500	37,911	101.1%	A	36,000	38,500	106.9%	A	【総合評価】評価B（＋） ・指標「郷土資料の蔵書冊数」について令和元年と令和2年は若干目標に届かなかったものの、令和3年度～令和5年度は目標冊数を上回ることができた。 指標「郷土資料の貸出冊数」について令和元年と令和2年は若干目標に届かなかったものの、令和3年度～令和5年度は目標冊数を上回ることができた。 指標「郷土資料を活用した事業開催」 事業施策「佐渡の歴史と文化の学びを支える図書館」についての総合評価は目標を達成し、前期後半は目標を超すことができたと評価する。
	郷土資料の貸出冊数	3,800	3,730	98.2%		3,800	3,508	92.3%		3,800	5,494	144.6%		3,800	5,218	137.3%		3,500	4,983	142.4%		
	郷土資料を活用した事業の実施回数	1	0	0.0%		1	0	0.0%		1	1	100.0%		1	3	300.0%		2	2	100.0%		
	4 市民と共に歩み、愛される図書館																					
	予約冊数	60,000	58,547	97.6%	B	60,000	66,479	110.8%	B	68,000	74,512	109.6%	A	68,000	74,998	110.3%	A	60,000	78,986	131.6%	A	【総合評価】評価B（＋） ・指標「予約冊数」は令和元年以外の令和2年～令和5年は目標を上回ることができた。 指標「新着案内・テーマリスト発行」は令和元年～令和2年は目標に届かず、令和3年度は大きく上回り、令和4年度～令和5年度は目標通りとなる。 事業施策「市民と共に歩み、愛される図書館」についての総合評価は、目標を達成することができ、令和3年度は目標を上回ることができたと評価する。
	新着案内・テーマごとのリスト 発行回数	28	24	85.7%		28	24	85.7%		30	42	140.0%		30	30	100.0%		30	30	100.0%		
	5 市民の課題解決を支援する図書館																					
	Wi-Fiまたは持ち込み用パソコン設置（Wi-Fi設置館数）	6	6	100.0%	C	6	6	100.0%	C	6	6	100.0%	B	6	6	100.0%	B	10	7	70.0%	B	【総合評価】評価B（－） 指標「相互貸借の冊数」はコロナ前よりも、令和3年度が多くなってきている。指標「レファレンスの事例紹介集発行」は令和元～3年は実施されなかったが令和4年度令和5年度は目標通り発行となっている。 指標「Wi-Fi設置」については令和元年度～令和5年度で実施できなかった。 事業施策「市民の課題解決を支援する図書館」に関しての総合評価としては概ね目標達成と評価する。
	相互貸借冊数	1,800	1,761	97.8%		1,800	1,352	75.1%		1,800	1,879	104.4%		1,900	1,589	83.6%		2,000	1,375	68.7%		
	レファレンスの事例紹介 発行回数	2	0	0.0%		2	0	0.0%		2	0	0.0%		2	2	100.0%		3	2	66.7%		

※「自己評点」について… A：目標値を上回って達成　B：目標どおり達成　C：目標値を下回った

4　まとめ

佐渡市図書館ビジョン前期（令和１年～令和５年）事業については、当初計画策定時に想定していなかったコロナが発生したことで、大きな影響を受けた。

令和２年度より国内でも感染が拡大し、コロナ禍の中、佐渡市内でも学校等の学級閉鎖、老人福祉施設でも感染者が発生し広がりを見せた。

その影響は図書館にももたされ、令和２年度の図書館の臨時休館の措置を取らざるを得なかった。

図書館ではコロナ対策として換気、手指消毒、机、椅子のアルコール消毒、学習室、閲覧室の席数を減らし密になる状態を防ぐ、返却図書を24時間隔離することで、ウィルス不活性化を図る等の対策を取りながら運営を行ってきた。

また、コロナ交付金を活用し、図書館アップ事業として小学校への団体貸出等で実績を伸ばした。

また、親子で本に親しむイベント「絵本フェスタ」の開催、音声ガイドや日本語字幕のついたバリアフリー映画の上映会の開催、落語の開催、講演会の開催等、多くの方が本に親しみ、図書館に来訪のきっかけとなるイベントをコロナ禍であったが、感染症対策を行いながら実施できたことは評価できると考える。

一方、目標に達成できなかった評価指標「学校図書館との懇談会、合同研修会開催」「Wi-Fi設置」「移動図書館車での貸出冊数」等がある。

達成できなかった要因として、コロナの影響、予算の問題、人員配置等の様々な要因があるが。

また、指標自体が政策の実現に対しての適切でない標である場合や、人口減少、少子高齢化が進む佐渡において、目標値が高い設定である場合がある。

後期計画策定にあたっては、図書館ビジョンの実現のための適切な施策事業、指標、目標値を設定するとともに、様々な社会状況に対応するための柔軟性も制度設計とする必要がある。